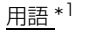
PX-5002
取扱説明書 1
セットアップと使い方編

- 本製品を使用可能な状態にするための準備作業や、基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などについて、説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

取扱説明書 1 セットアップと使い方編（本書）	本製品を使用可能な状態にするための準備作業や、基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などについて、説明しています。本製品の近くに置いてご活用ください。
取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）	本製品の機能、操作方法など本製品を使用していく上で必要となる情報を詳しく記載している説明書です。各種アプリケーションソフトで本製品の機能を使用するための情報を記載しています。ご使用の目的に応じて、必要な章をお読みください。 本製品添付のソフトウェアCD-ROMからプリンタソフトウェアとともに自動的にコンピュータにインストールされます。このファイルをお読みいただくには、Adobe Readerやプレビュー（Mac OS X）などの PDF 閲覧用ソフトウェアが必要です。
取扱説明書 ネットワーク編（電子マニュアル）	ネットワークプリンタとして使用するための情報を記載しています。

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

用語 *1　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows Vista の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.5 の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、郵便事業株式会社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.5
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

Apple の名称、TrueType、Mac、Mac OS、OpenTransport、Bonjour、QuickTime は Apple Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Reader、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Lightroom、Adobe Illustrator は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

インクカートリッジは純正品をお薦めします

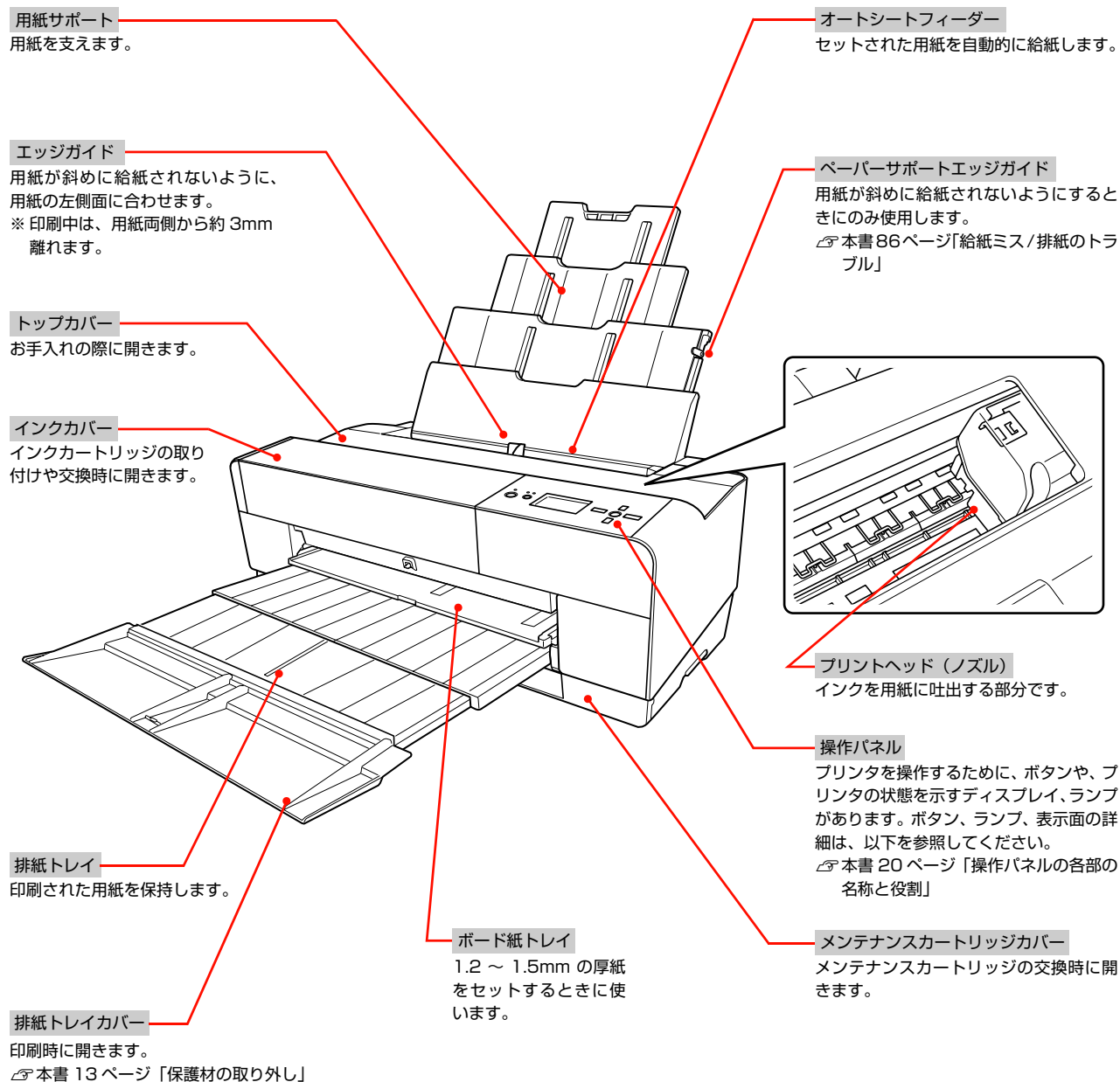
プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお薦めします。
純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンタ本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。
非純正品の場合、プリンタドライバなどでインク残量が表示されないことがあります。

もくじ

詳細編（電子マニュアル）の内容

1 ご使用の前に

ここでは、本製品の特長や各部の名称と働きおよび使用上の注意事項について説明します。

各部の名称と働き

正面

用紙サポート
用紙を支えます。
エッジガイド
用紙が斜めに給紙されないように、用紙の左側面に合わせます。
※ 印刷中は、用紙両側から約 3mm 離れます。
トップカバー
お手入れの際に開きます。
インクカバー
インクカートリッジの取り付けや交換時に開きます。
排紙トレイ
印刷された用紙を保持します。
排紙トレイカバー
印刷時に開きます。
本書 13 ページ「保護材の取り外し」
ボード紙トレイ
1.2 ～ 1.5mm の厚紙をセットするときに使います。
オートシートフィーダー
セットされた用紙を自動的に給紙します。
ペーパーサポートエッジガイド
用紙が斜めに給紙されないようにするときにのみ使用します。
本書86ページ「給紙ミス／排紙のトラブル」
プリントヘッド（ノズル）
インクを用紙に吐出する部分です。
操作パネル
プリンタを操作するために、ボタンや、プリンタの状態を示すディスプレイ、ランプがあります。ボタン、ランプ、表示面の詳細は、以下を参照してください。
本書 20 ページ「操作パネルの各部の名称と役割」
メンテナンスカートリッジカバー
メンテナンスカートリッジの交換時に開きます。

背面

ネットワークインターフェイスコネクタ

RJ-45 コネクタ
LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。また MDI/MDI-X に対応しています。

ステータスランプ（緑、オレンジ）
ネットワークの通信速度を示します。

データランプ（オレンジ）
接続状態またはデータの受信状態を示します。

ステータスランプ（緑、オレンジ）	データランプ（オレンジ）	状態
オレンジ点灯	点灯	100Base-TX で接続されている状態
オレンジ点灯	点滅	100Base-TX でデータ受信中
緑点灯	点灯	10Base-T で接続されている状態
緑点灯	点滅	10Base-T でデータ受信中

本製品の特長

PX-5002 は A2 サイズの用紙に対応した大判インクジェットカラープリンタです。
本製品の主な特長は以下の通りです。

「VM（ビビッドマゼンタ）インクテクノロジー」搭載で色域拡大

ビビッドマゼンタ、ビビッドライトマゼンタの採用により、青やマゼンタの色域拡大を実現しています。これまで難しかった、深い海の青や彩度の高いピンクの色再現ができるようになりました。

論理的色変換システム「LCCS」によるバランスの良い色表現

論理的色変換システム「LCCS（Logical Color Conversion System）」により、①光源環境による色の違い（カラーインコンスタンシー）の低減 ②細やかな階調性 ③粒状感の低減 ④色再現領域（ガマット）拡大による豊かな色表現―を実現するとともに、これらをバランスよく制御します。総合的な画質向上、安定した色表現を可能にしました。

モノクロ写真印刷

3 種類のブラック系インク（ブラック、グレー、ライトグレー）をメインに、淡いカラーインクを調節して、モノクロの微妙な色調表現を可能にしました。また、アプリケーションソフトで加工することなく、プリンタドライバの機能だけでカラー写真データから階調豊かなモノクロ写真が印刷できます。
☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「モノクロ写真印刷」

さまざまな用紙の種類に対応

高画質印刷を実現するために、さまざまなエプソン製の専用紙を用意しています。屋内使用、屋外使用（ラミネート加工を推奨）など用途に応じた用紙を選んで新しいアートの世界を表現できます。また、1.20mm から 1.50mm までの厚紙に対応しており、ボード紙への印刷も可能です。
☞ 本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」

フチなし印刷

自動拡大による四辺フチなし印刷、原寸維持四辺フチなし印刷などができます。
☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「フチなし印刷」

また、印刷結果をそのままつなぎ合わせて大きなポスターなどができるポスター印刷（フチなし）機能があります。
☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「ポスター印刷（フチなし）」

省資源機能

縮小印刷、割付印刷機能の使用により、印刷用紙の枚数や用紙コストを削減できます。
☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「拡大 / 縮小印刷」
☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「割付印刷」

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

記号	説明
	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、アース接続して使用することを示しています。
	この記号は、濡れた手で本製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。

設置上のご注意

⚠警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
また、取扱説明書で指示された設置スペースを確保してください。
☞ 本書 97 ページ「設置スペース」

⚠ 注意

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
開梱や移動の際は２人以上で運んでください。
本製品の質量は以下を参照してください。
☞ 本書 96 ページ「総合仕様」

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

取り扱い上のご注意

⚠警告

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

操作パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

⚠注意

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。

各種ケーブルを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠警告

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠警告

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電･火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

次のような場所にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品に関するご注意

⚠注意

インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

インクカートリッジを分解しないでください。
分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。

インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

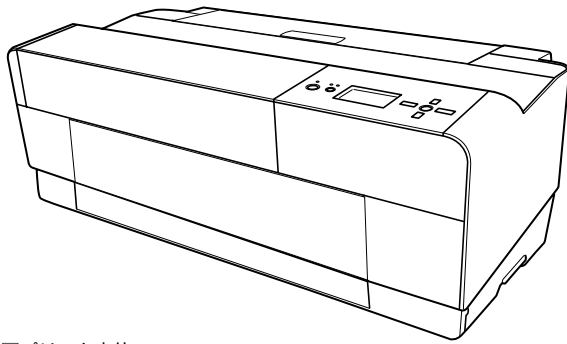
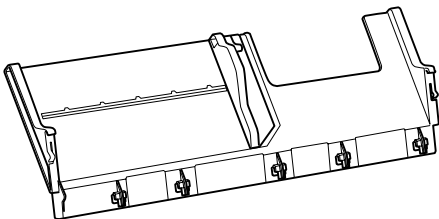
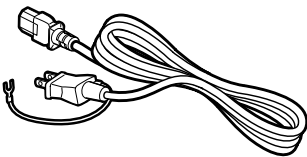
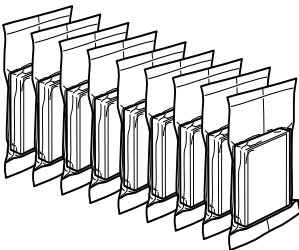
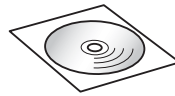
2 セットアップ

ここでは、本製品を使用可能な状態にするための準備作業について説明します。

同梱物の確認と保護材の取り外し

⚠注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 本書 96 ページ「総合仕様」
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

同梱されているもの

□プリンタ本体

□リア手差し用紙ガイド

□電源コード

□初期充てん用インクカートリッジ（9個）

□ソフトウエア CD-ROM

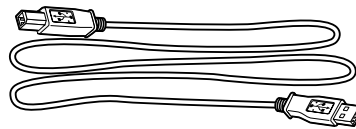
□ Adobe Photoshop Elements

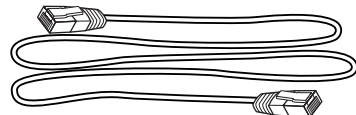
□「取扱説明書 1 セットアップと使い方編」（本書）

□保証書

※ 上記同梱物のほかに、各種ご案内や試供品が同梱されている場合がありますのでご了承ください。

別途ご用意いただくもの

コンピュータとの接続用ケーブルは同梱されていません。お客様の使用環境によってケーブルが異なりますので、環境に応じて別途ご用意ください。接続については本書 16 ページ「コンピュータの接続」をご覧ください。

□ USB ケーブル

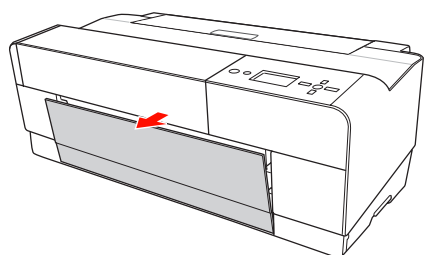
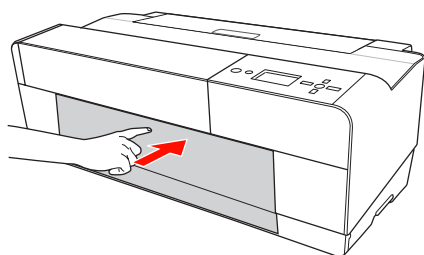
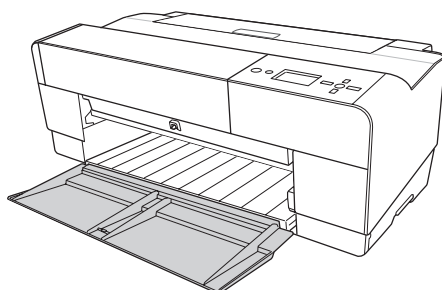
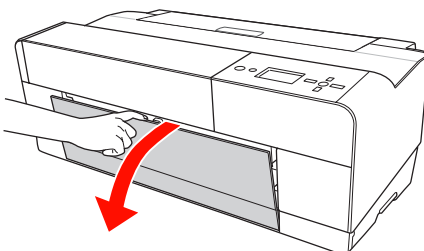
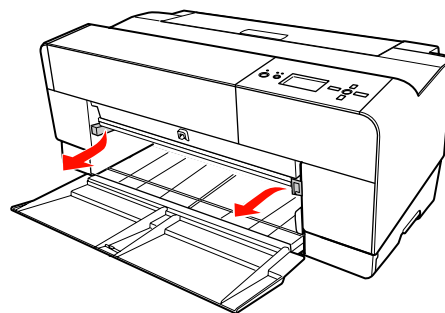
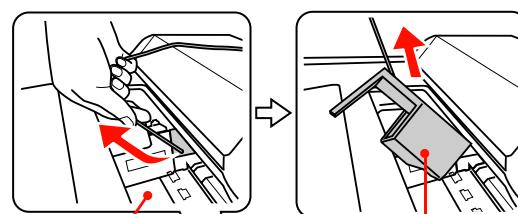
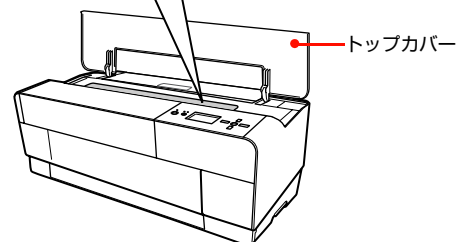
または

□ネットワークケーブルおよび HUB 等の周辺機器

インターフェイスケーブルについては以下を参照してください。
☞ 本書 98 ページ「インターフェイスケーブル」

保護材の取り外し

1 本製品を固定しているテープをすべてはがします。

2 排紙トレイカバーを開きます。

① 排紙トレイカバーを奥側に押します。排紙トレイカバーが若干手前に飛び出します。

② 飛び出した部分に指を掛けて、手前に引いてください。

3 ボード紙トレイ下の左右にある保護材を取り外します。

4 トップカバーを開いて、操作パネル上に貼り付けられた紙と紐を静かに引き、プリントヘッド横にある保護材を取り除きます。

5 各部にある、その他の保護材を取り外します。

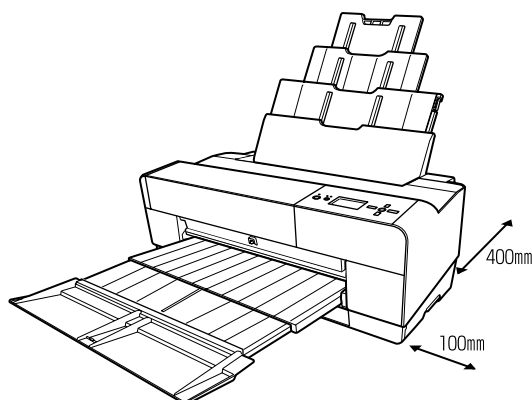
> **! 注 意**
>
> 梱包用の箱と本体から取り外した保護材は再輸送の際に使用しますので大切に保管しておいてください。
>
> 本書 70 ページ「プリンタの移動・輸送」

プリンタの設置と電源コードの接続

1 **水平で安定した場所にプリンタを設置します。**

作業しやすいように十分なスペースを確保して設置してください。プリンタ前面には排紙トレイを引き出せるだけのスペースが必要です。また、壁際に設置する場合は、背面は 400mm 以上、側面は 100mm 以上のすき間をあけてください。

排紙トレイの開き方については、以下を参照してください。

☞ 本書 35 ページ「用紙のセット」

※ 上図は、印刷時に必要とするスペースがわかりやすいようにいくつかの部位を開いて表していますが、この後のセットアップの手順では、各部位を開けたままにしておく必要はありません。

2 **保護材とテープが取り外されていることを確認して、電源コネクタとコンセントを電源コードでつなぎます。**

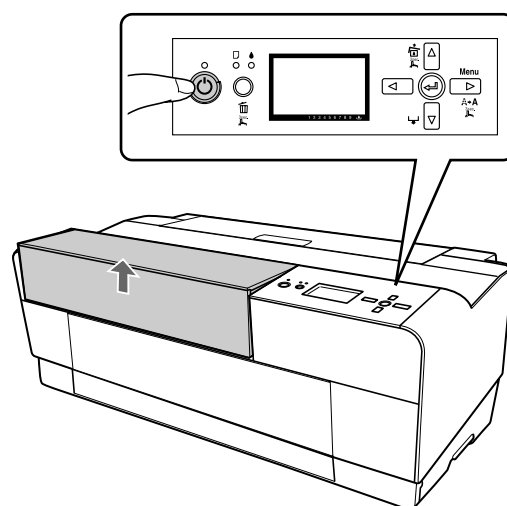
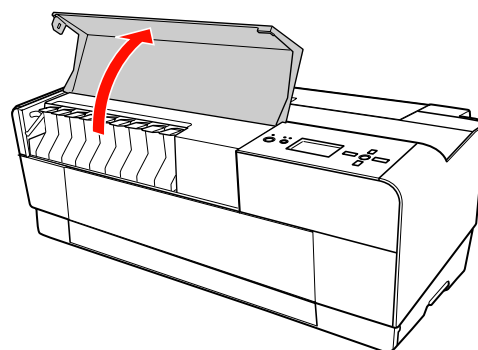
> ⚠警告
>
> AC100V 以外の電源は使用しないでください。

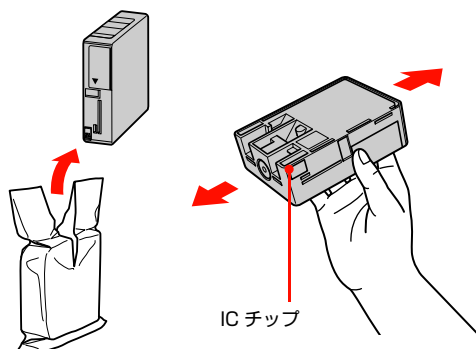
> **! 注 意**
>
> 電源プラグを、スイッチ付テーブルタップなどに接続しないでください。プリントヘッドの動作中に電源が切れると、プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

インクカートリッジのセット

インクカートリッジの初期のセットはプリンタ本体だけで行いますので、この時点ではまだコンピュータとつながないでください。

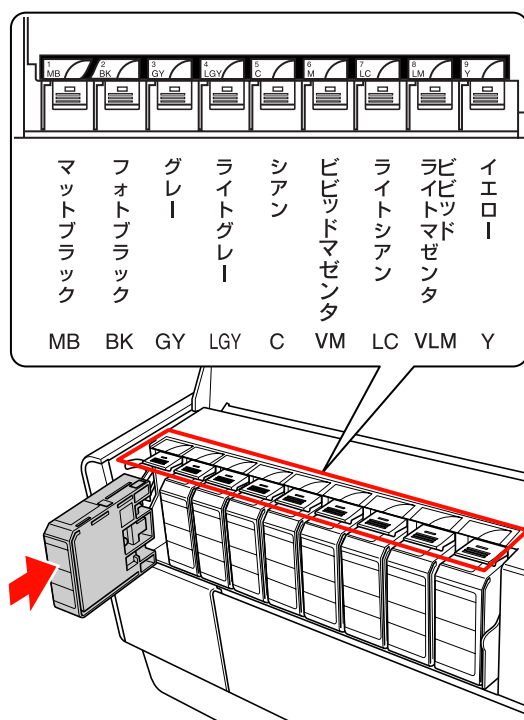
1 **【電源】ボタン（ ⏻ ）を押して、プリンタの電源を入れます。**

初めて電源を入れると、約 45 秒後にインクカバーのロックが自動的に開放され、同時にカバーが 5mm ほど持ち上がります。

2 **インクカバーを開きます。**

> **! 注 意**
>
> - インクカバーはロックが開放されるまでに約 45 秒かかります。無理に開かないでください。
> - インクカバーの上に物を置かないでください。

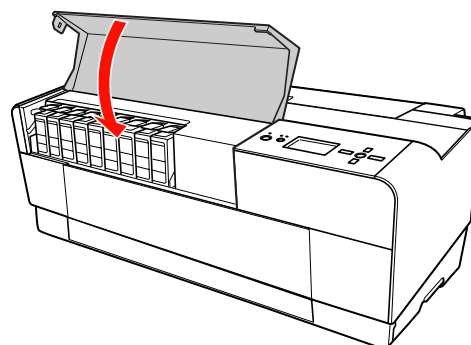
3 インクカートリッジを袋から取り出し、図のように持って５秒ほど振ります。

！注意

インクカートリッジに付いている緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

4 インクカートリッジをカチッと音がするまで差し込みます。

インクカートリッジの色と本体ラベルの色を合わせてください。

！注意

９ 種類すべてのインクカートリッジをセットしてください。ひとつでもセットされていないと初期充てんが行われません。

5 インクカバーを閉じます。

インクの充てんが開始されます。インクの充てんには約６分半かかります。

！注意

インク充てん中は次のことにご注意ください。
①電源を切らないでください。
②電源コードをコンセントから抜かないでください。
③用紙をセットしないでください。
④インクカバーを開けないでください。
⑤メンテナンスカートリッジカバーを開けないでください。

6 インクの充てんが終了したことを確認します。

充てんが終了するとディスプレイに「印刷可能」と表示されます。

コンピュータの接続

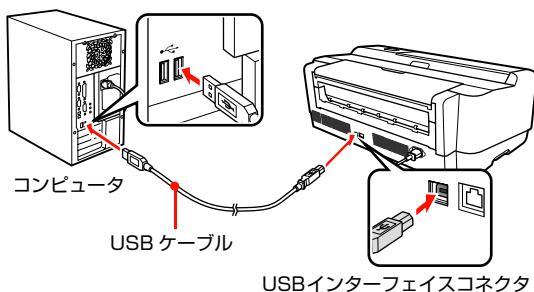
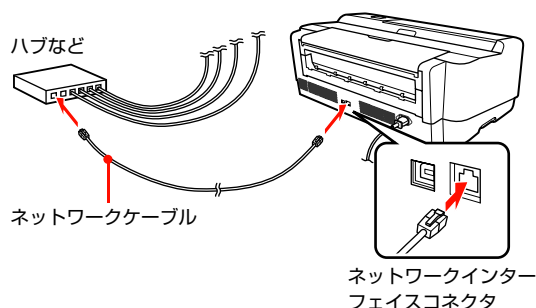
USB ケーブルまたはネットワークケーブル（ネットワーク接続の場合）で本機とコンピュータを接続します。ケーブルは本機に同梱されていませんので、以下を参照して用意してください。

☞ 本書 98 ページ「オプションと消耗品の紹介」

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

電源が入っているときは、【電源】ボタンを押して切ります。

2 **コネクタの向きに注意して、プリンタとコンピュータにケーブルを接続します。**

< USB ケーブルの場合>

<ネットワーク接続の場合>

プリンタソフトウェアのインストール

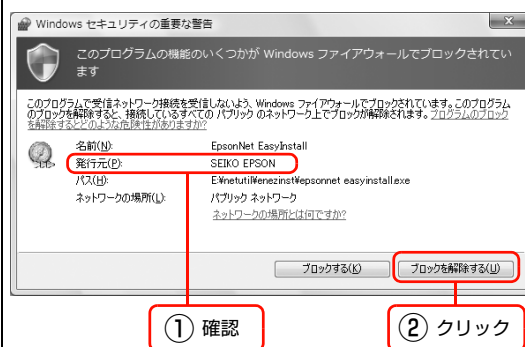
！注 意

管理者権限をお持ちの方がインストールを行ってください。

1 **コンピュータを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。**

2 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

3 **以下の画面が表示されたら、接続の状態に合わせて［ローカル（直接）接続］または［ネットワーク（LAN）接続］をクリックします。**

以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

4 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

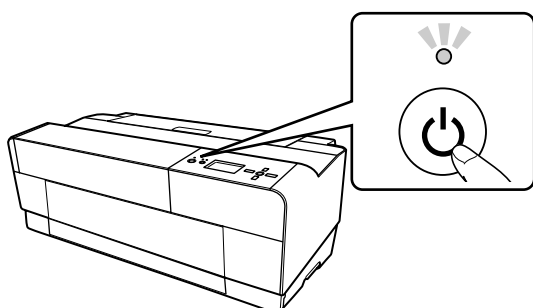
インストールが終了すると「MyEPSON」のショートカットがデスクトップ上に作成され、ここからユーザー登録をすることができます。

Mac OS X のプリンタ追加方法

プリンタソフトウェアのインストール後、プリンタを最初に使用するときやプリンタを変更するときは、Mac OS X の画面上でプリンタを追加してください。プリンタは、前回使用したプリンタが選択されています。

ネットワーク接続するときは、プリンタを追加する前にプリンタの IP アドレスを設定してください。IP アドレスは、操作パネルまたは EpsonNet Config で設定できます。

! 注意
管理者権限をお持ちの方がインストールを行ってください。

1 プリンタの電源を入れます。

2 プリンタを追加するためのユーティリティを起動します。

Mac OS X v10.5

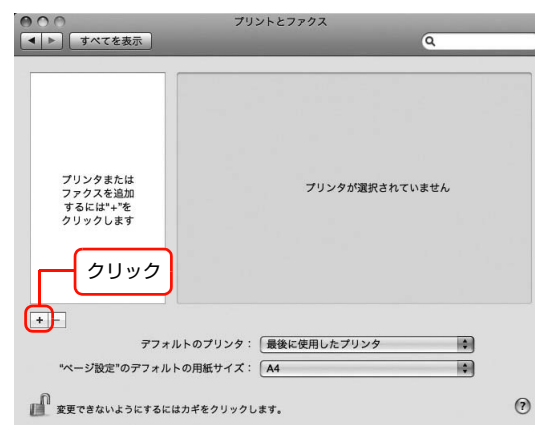
［アプリケーション］－［システム環境設定］－［プリントとファクス］をダブルクリックします。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4

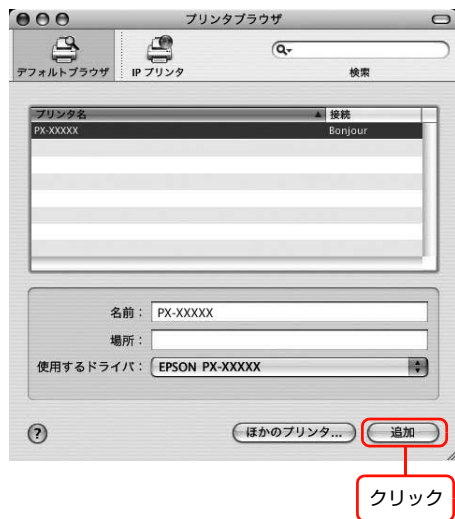
［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

3 プリンタを追加するための画面を表示します。

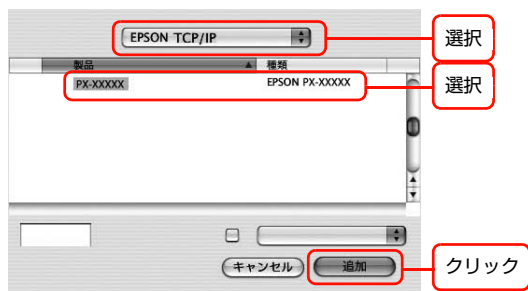
Mac OS X v10.5

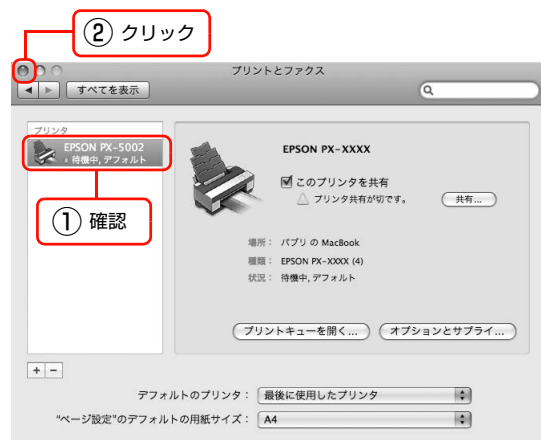
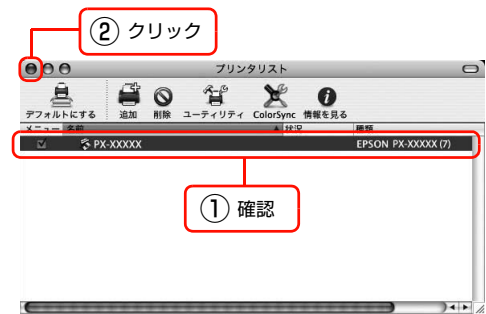
［+］をクリックします。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4

［追加］をクリックします。

4　本製品を選択し、[追加]をクリックします。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4 でネットワーク接続している場合に、上記の一覧に本製品が表示されないときは、次の手順に進みます。

① [ほかのプリンタ]をクリックします。

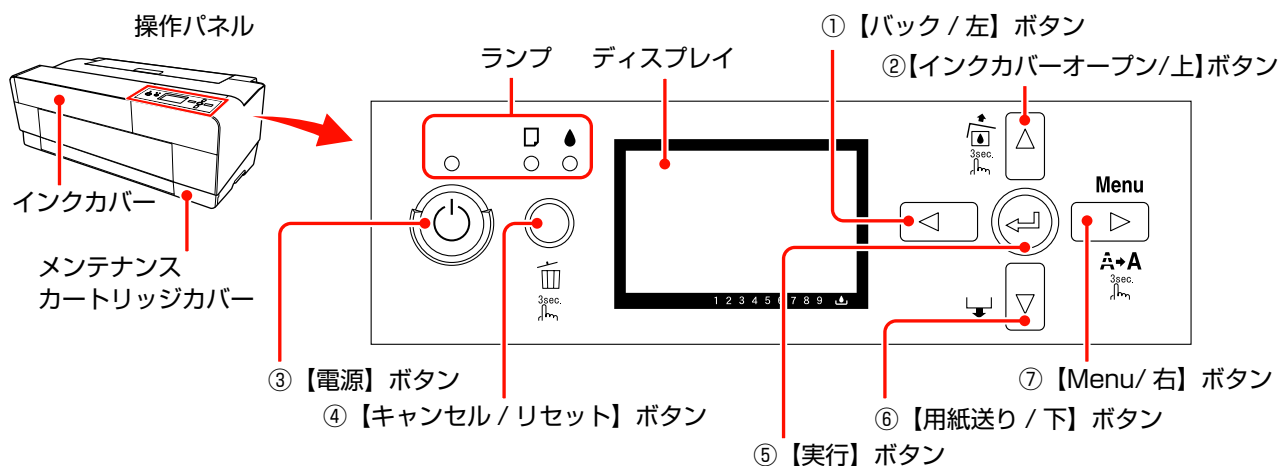
② [EPSON TCP/IP]など接続方法を選択後、本製品を選択して、[追加]をクリックします。

5　リストの中に本製品が追加されたことを確認し、画面を閉じます。

Mac OS X v10.5

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4

3 操作パネルの使い方

ここでは、操作パネルの使い方や設定項目の詳細を説明します。

操作パネルの各部の名称と役割

操作パネルでインク残量やプリンタの状態が確認できます。

ボタン

①【バック / 左】ボタン(◁)

パネル設定時に上位階層への移動をします。

②【インクカバーオープン / 上】ボタン(△)

3 秒以上押すとインクカバーロックの解除をします。

- パネル設定時には項目の上移動をします。

③【電源】ボタン(⏻)

プリンタの電源を入れたり切ったりします。

④【キャンセル / リセット】ボタン(🗑)

エラー解除、インクカバーオープン（インクカートリッジ交換を促すメッセージ表示時）をします。

- 3 秒以上押すと【リセット】ボタンとして機能します。印刷を中止し、受信した印刷データを消去（リセット）します。リセット後、印刷が可能になるまでに時間がかかることがあります。
- パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可能状態にします。

⑤【実行】ボタン(↵)

パネル設定時に、設定値の確定、動作の実行、保存などをします。

⑥【用紙送り / 下】ボタン(▽)

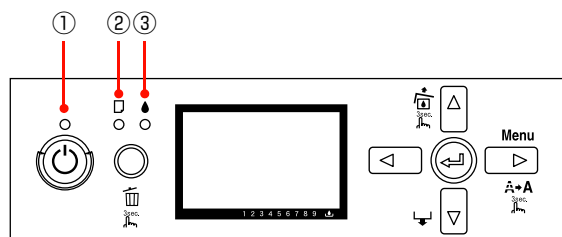
用紙送りをします。

- ASF、ボード紙トレイに用紙がセットされ、印刷開始位置まで給紙されているときは排紙をします。
- リア手差し用紙ガイドに用紙がセットされ、印刷開始位置まで給紙されているときはバックフィード（用紙戻り）をします。
- ボード紙トレイが開いているときは用紙がセットされていなくてもフロントからの給紙動作をします。（ボード紙トレイを使用しないときは必ず閉じてください。）

⑦【Menu/ 右】ボタン(▷)

パネル設定モードに移行します。印刷中に押すとプリンタステータスメニューに移行します。

- 3 秒以上押すとヘッドクリーニングを行います。（印刷中は不可）
- パネル設定時には下位階層への移動をします。

ランプ

①電源ランプ

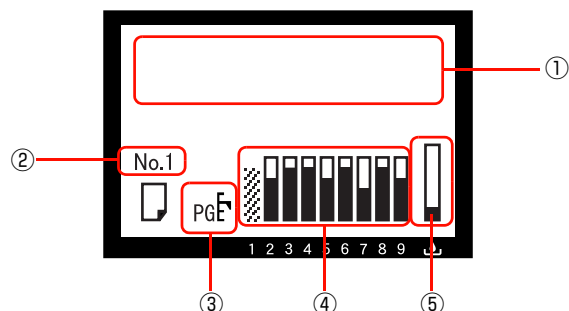
点灯	プリンタの電源が入っています。
点滅	データ受信中/プリンタの電源オフ処理中です。
消灯	プリンタの電源が切れています。

②用紙チェックランプ

点灯	印刷できない用紙がセットされています。
点滅	給排紙時のエラー / メンテナンスコールが発生しています。
消灯	印刷可能です。

③インクチェックランプ

点灯	インク関連のエラーが発生しています。
点滅	インク関連のワーニングが発生しています。
消灯	印刷可能です。

ディスプレイ

①メッセージ

プリンタの状態や、操作・エラーメッセージを表示します。

本書 72 ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

②[ユーザー用紙設定]の設定状態

[ユーザー用紙設定]の[用紙番号]で「1」~「10」のいずれかを選択すると、選択した番号が表示されます。

本書 28 ページ「[ユーザー用紙設定]メニュー」

③[プラテンギャップ]の設定状態

[プラテンギャップ]の設定値を表示します。

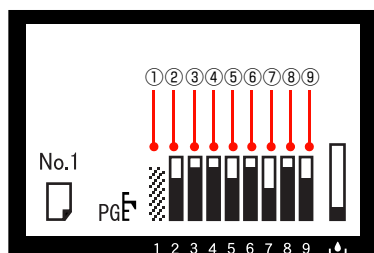
プラテンギャップは以下の2つから設定できます。

- 「プリンタ設定」内の[プラテンギャップ]
- [ユーザー用紙設定]を行ったときの[プラテンギャップ]

双方を設定した場合は[ユーザー用紙設定]で設定したプラテンギャップが優先して表示されます。

アイコン	説明
表示なし	[標準]を選択しています。
PGE	[狭くする]を選択しています。
PGE	[広くする]を選択しています。
PGE	[より広くする]を選択しています。
PGE	[最大]を選択しています。

④各色インク残量の目安

各色のインクカートリッジ残量を示します。

インクカートリッジ

①	②	③
マットブラック（MB）	フォトブラック（BK）	グレー（GY）
④	⑤	⑥
ライトグレー（LGY）	シアン（C）	ビビッドマゼンタ（VM）
⑦	⑧	⑨
ライトシアン（LC）	ビビッドライトマゼンタ（VLM）	イエロー（Y）

アイコン	インクカートリッジ残量
	十分なインク残量があります。
	新しいインクカートリッジを準備することをお勧めします。
	新しいインクカートリッジを準備してください。
	新しいインクカートリッジを準備してください。（点滅表示）
	インクが少ないため、印刷できない状態です。新しいインクカートリッジと交換してください。（点滅表示）
	インクカートリッジがセットされていないか、エラーが発生しています。インクカートリッジを再セットしてください。エラーが解消されることがあります。
	現在、使用の設定がされていない状態です。マットブラックインクとフォトブラックインクのどちらかに表示されます。

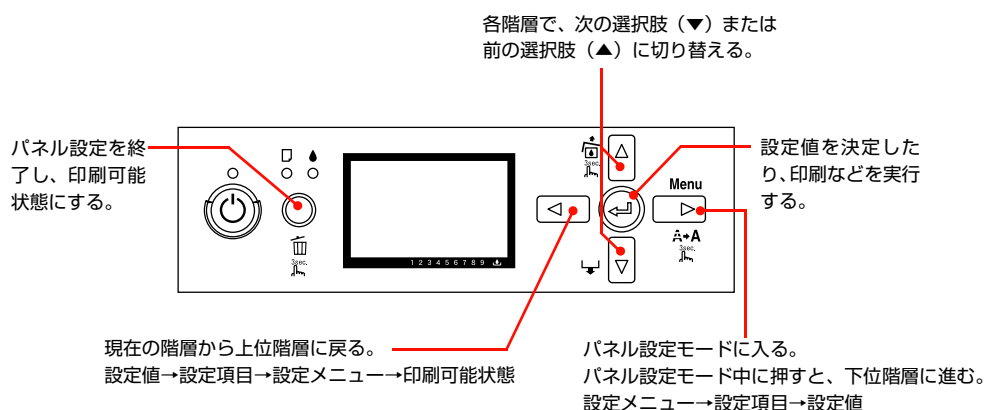
⑤メンテナンスカートリッジの空き容量の目安

メンテナンスカートリッジ空き容量を示します。

アイコン	メンテナンスカートリッジ空き容量
	十分な空き容量があります。
	新しいメンテナンスカートリッジを準備することをお勧めします。
	新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。
	新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。（点滅表示）
	メンテナンスカートリッジの空き容量がなくなりました。新しいメンテナンスカートリッジと交換してください。（点滅表示）
	メンテナンスカートリッジがセットされていないか、エラーが発生しています。メンテナンスカートリッジを再セットしてください。エラーが解消されることがあります。

設定メニュー

通常の印刷に必要なプリンタの設定は、プリンタドライバまたはアプリケーションソフト上で行いますが、プラテンギャップやユーザー用紙などの設定は操作パネル上（パネル設定モード）から行います。また、プリンタに関する情報を表示したり、ノズルチェックパターン印刷などの機能が実行できます。

設定メニューの使い方

パネル設定モードには、以下の設定メニューがあります。

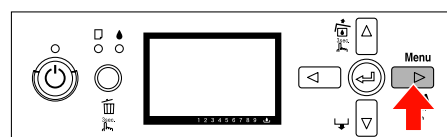
参考

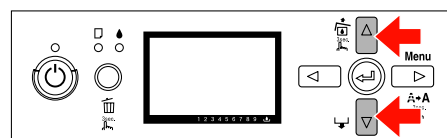
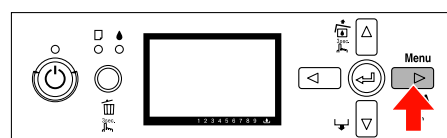
- 【キャンセル / リセット】ボタン（ ）を押すと、パネル設定モードから抜けて印刷可能状態に戻ります。
- 各階層で【バック / 左】ボタン（ ）を押すと、1 つ上の階層に戻ります。

操作方法の概略は、次の通りです。

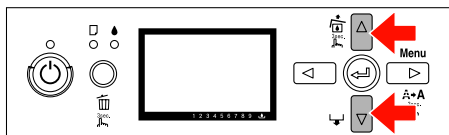
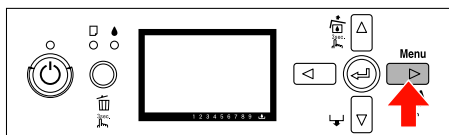
1 パネル設定モードに入り、設定メニューを選択します。

例)「プリンタ設定」メニューを選択します。

① 【Menu/ 右】ボタン（ ）を押してパネル設定モードに入ります。

各メニューが表示されます。

② 【上】ボタン ／【下】ボタン（ / ）を数回押して、「プリンタ設定」を選択します。

③ 【右】ボタン（ ）を押して、「プリンタ設定」メニューに入ります。

2 **設定項目を選択します。**

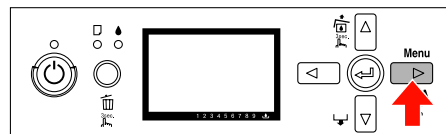
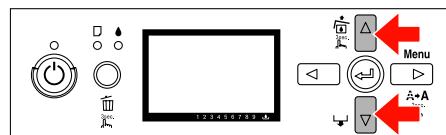
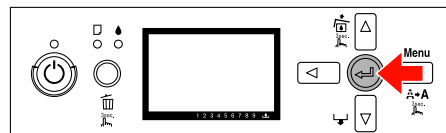
例)「プリンタ設定」メニューで「プラテンギャップ」を選択します。

①「プリンタ設定」メニューで【上】ボタン ／【下】ボタン（△/▽）を数回押して、「プラテンギャップ」を選択します。

②【右】ボタン（▷）を押して、「プラテンギャップ」項目に入ります。

3 **この後の操作は、設定項目により、次のＡ～Ｃの３つの場合があります。**

A. 設定値が選択できる場合

例)「プリンタ設定」メニューの「プラテンギャップ」の場合

①「プリンタ設定」メニューで【上】ボタン ／【下】ボタン（△/▽）を数回押して、「プラテンギャップ」を選択します。

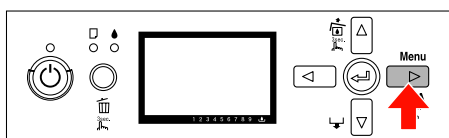
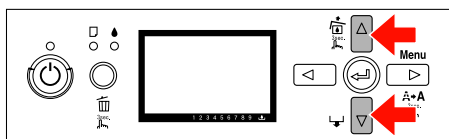
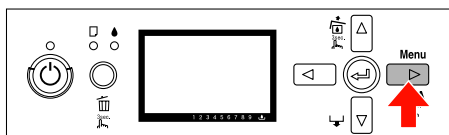
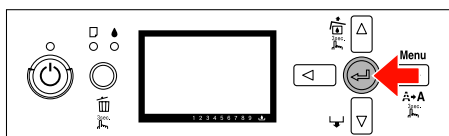
②【右】ボタン（▷）を押して、「プラテンギャップ」項目に入ります。

③【上】ボタン ／【下】ボタン（△/▽）を数回押して、「プラテンギャップ」の設定値を選択します。現在の設定値には（＊）が表示されます。

④【実行】ボタン（↵）を押して、設定値を決定します。

⑤【左】ボタン（◁）を押して、１つ上の階層（設定項目の階層）へ戻るか、【キャンセル】ボタン（🗑）を押してパネル設定モードから抜けます。

B. 機能を実行する場合

例）「テスト印刷」メニューの「ノズルチェック」の場合

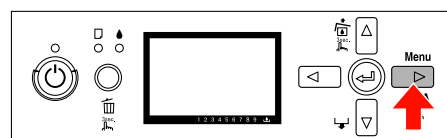
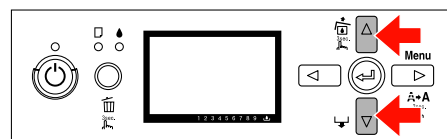
※ テスト印刷をするときは、A4 用紙を ASF にセットしてください。

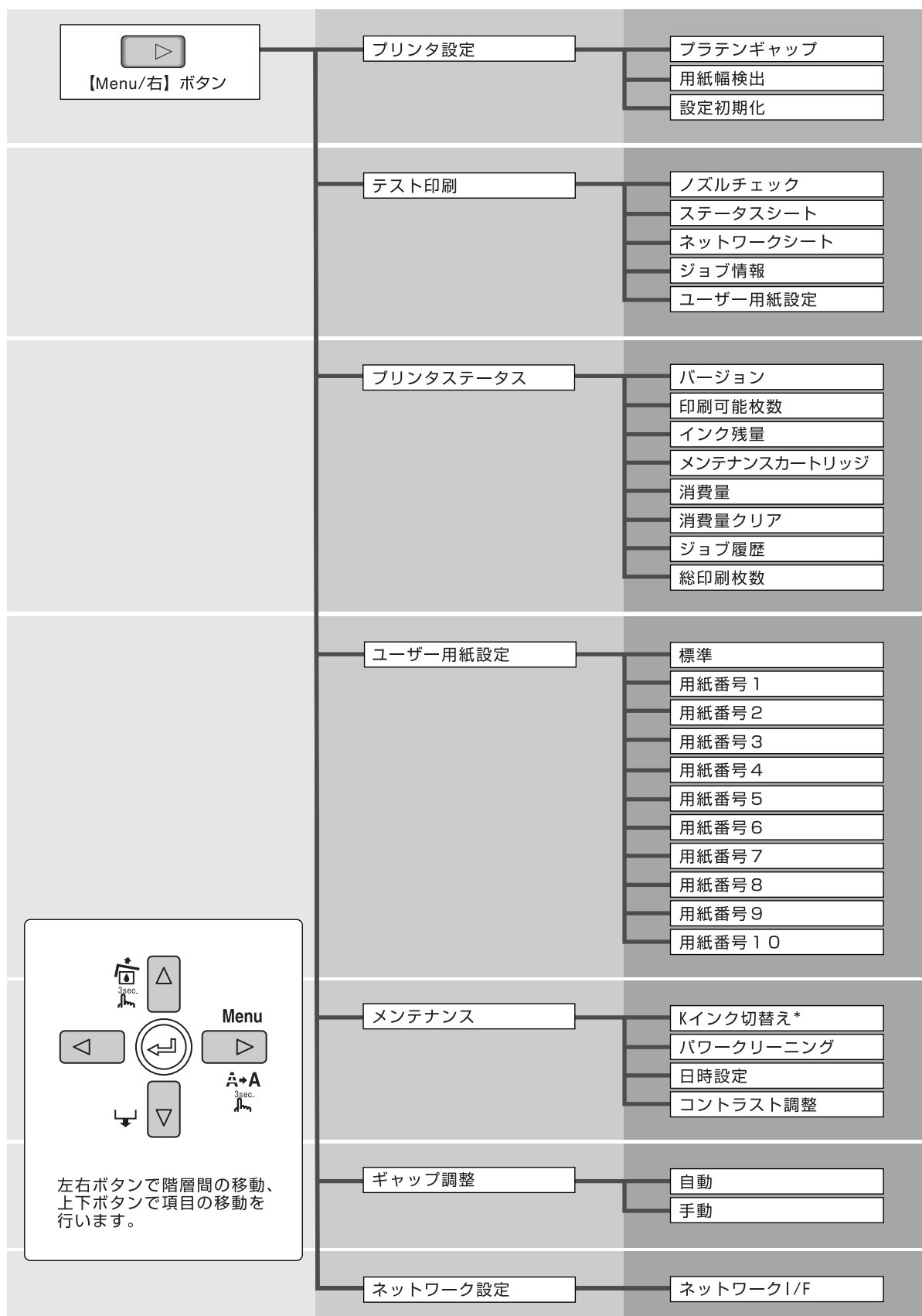
① 「テスト印刷」メニューで【上】ボタン / 【下】ボタン（△/▽）を数回押して、「ノズルチェック」を選択します。

② 【右】ボタン（▷）を押して、「ノズルチェック」項目に入ります。

③ 【上】ボタン　/ 【下】ボタン（△/▽）を押して、「自動」か「手動」を選択します。（ここでは「自動」を選択した場合を説明します。）

④ 【右】ボタン（▷）を押します。

⑤ 【実行】ボタン（⏎）を押します。

C. プリンタの各種情報を表示する場合

例）「プリンタステータス」メニューの「インク残量」の場合

① 「プリンタステータス」メニューで【上】ボタン / 【下】ボタン（△/▽）を数回押して、「インク残量」を選択します。

② 【右】ボタン（▷）を押して、「インク残量」項目に入ります。

③ 表示されているインク残量を確認します。続けて【上】ボタン / 【下】ボタン（△/▽）を押すと各色のインク残量が順に表示されます。
例：マットブラック　84%

④ 【左】ボタン（◁）を押して、1 つ上の階層（設定項目の階層）へ戻るか、【キャンセル】ボタン（🗑）を押してパネル設定モードから抜けます。

設定メニュー一覧

* 「K インク切替え」とはブラックインク種類変更のことです。

[プリンタ設定] メニュー

■ は初期値です。

設定項目	設定値	説明
プラテンギャップ	狭くする	プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）の広さを選択します。 • ［標準］：通常はこのまま使用します。 • ［標準］以外を選択すると操作パネルに以下のアイコンが表示されます。 ［狭くする］：＜PGE＞ ［広くする］：＜PGE＞ ［より広くする］：＜PGE＞ ［最大］：＜PGE＞ 間隔を標準から変更します。
	標準	
	広くする	
	より広くする	
	最大	
用紙幅検出	ON	用紙幅を検出するかどうかを選択します。 • ［ON］：用紙幅を検出します。 • ［OFF］：用紙幅を検出しません。セットされた用紙より大きな画像を印刷すると用紙外に印刷します。 • 用紙外への印刷はプリンタ内部を汚すため、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
	OFF	
設定初期化	実行	パネル設定された項目の内容を初期値に戻します。

[テスト印刷] メニュー

設定項目	設定値	内容
ノズルチェック	自動	［手動］：ノズルチェックパターンを印刷します。 ［自動］：ノズルチェックパターンを印刷後、ノズルが目詰まりしていると自動的にクリーニングをします。 また、ノズルチェックパターンのほかに、ファームウェアバージョン、インク使用量、メンテナンスカートリッジの空き容量も印刷します。 ☞ 本書 61 ページ「ノズルチェック」
	手動	
ステータスシート	印刷	現在のパネル設定の内容（ステータス）を印刷します。
ネットワークシート	印刷	現在のネットワーク設定を印刷します。
ジョブ情報	印刷	プリンタ内に保存されている印刷ジョブ（最大 10 ジョブ）に関する情報を印刷します。
ユーザー用紙設定	印刷	［ユーザー用紙設定］メニューに登録されている情報を印刷します。

[プリンタステータス] メニュー

プリンタの状態を操作パネルのディスプレイに表示します。

設定項目	表示	内容
バージョン	oOXXXX-XX.XX.ICBS	プリンタのファームウェアバージョンを表示します。
印刷可能枚数	(インクの色) xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量を基に、このインクの色であと何枚印刷可能かを表示します。
インク残量	(インクの色) nn%	各インクの残量を表示します。
メンテナンスカートリッジ	メンテナンスカートリッジ nn%	メンテナンスカートリッジの空き容量を表示します。
消費量	インク xxxxx.x ml	インクの使用量（クリーニング実行時のインク使用量を含む）をミリリットル（ml）で表示します。
消費量クリア	−	実行すると、インクの使用量を初期値（0）に戻します。
ジョブ履歴	No.0 〜 No.9 インク　xxxxx.x ml 用紙　xxxx.x cm²	プリンタ内に保存されている印刷ジョブが消費したインク量（ミリリットル）と用紙面積（縦×横平方センチメートル）を表示します。表示できるのは最大 10 ジョブ分で、最新ジョブ番号は No. 0 です。
総印刷枚数	nnnnnn 枚	総印刷枚数（6 桁まで）を表示します。

- インクチェックランプが点滅または点灯したら、新しいインクカートリッジと交換してください。正しく交換を行うと、カウンタは自動的にリセットされます。
  本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」
- ディスプレイに「カートリッジ空き容量なし」と表示されたら、新しいメンテナンスカートリッジと交換してください。正しく交換を行うと、カウンタは自動的にリセットされます。交換方法は以下をご覧ください。
  本書 57 ページ「メンテナンスカートリッジの交換」

[ユーザー用紙設定] メニュー

エプソン製以外の用紙を使用するときは、用紙の特性に合わせた設定が必要です。［網掛け］は初期値です。

設定項目	設定値	内容
用紙番号選択（1-10）	標準	エプソン製の専用紙は［標準］の設定で使用します。プリンタドライバで選択した用紙種類に応じて、最適な印刷を行います。
	用紙番号 1 〜 10	任意の用紙に合わせた設定値（プラテンギャップ、用紙厚、用紙送り補正、乾燥時間）を登録する際に番号（1 〜 10）を選択したり、印刷時に登録番号で設定値を呼び出して印刷を行います。 ここで選択した登録番号は、プリンタ使用時に操作パネルのディスプレイの下段に表示されます。

用紙番号選択の 1 から 10 を選んで実行したあと、用紙種類、プラテンギャップ、用紙厚検出パターン、用紙送り補正 A、用紙送り補正 B、乾燥時間を設定します。

設定項目	設定値	内容
用紙種類	厚手マット紙	使用する用紙の種類を選択します。
	薄手マット紙	
	写真用紙	
	ファインアート紙	
プラテンギャップ	狭くする	用紙の厚さに合わせて、プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）の広さを調整します。 [標準]：通常はこのまま使用します。 [狭くする]：[標準］より狭くなります。 [広くする]：[標準］より広くなります。 [より広くする]：[広くする］より広くなります。
	標準	
	広くする	
	より広くする	
用紙厚検出パターン	印刷	セットした用紙の厚みを検出するためのパターンを印刷します。 この項目は、用紙番号で［標準］を選択しているときは表示されません。
用紙送り補正 A	0.00%	用紙の大部分のエリアの補正値を設定します。補正値は 1m に対する割合で設定します。
	－0.70～+0.70%	
用紙送り補正 B	0.00%	用紙の最後の部分のエリアの補正値を設定します。補正値は 1m に対する割合で設定します。
	－0.70～+0.70%	
乾燥時間	0.0 秒	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク濃度や用紙によっては、インクが乾燥しにくい場合があります。このようなときは乾燥時間を長めに設定してください。
	0.0 ～ 10.0 秒	

ユーザー用紙設定に関する詳細な説明は以下を参照してください。
取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「エプソン製以外の用紙への印刷」

[メンテナンス]メニュー

ブラックインクの切り替えやパワークリーニングなどのメンテナンスを行います。■■■■ は初期値です。

設定項目	設定値	内容
K インク切替え	実行	ブラックインク種類の切り替えをします。 本書 47 ページ「ブラックインク種類の変更」
パワークリーニング	実行	通常のクリーニングよりも強力なクリーニングを行います。
日時設定	YY/MM/DD HH:MM （設定時の日時を表示）	内蔵時計の年月日と時分を設定します。
コントラスト調整	0	操作パネルのディスプレイのコントラストを調整します。
	－ 20 ～ 20（dec）	

[ギャップ調整] メニュー

プリントヘッドのギャップ調整を行います。　　　　　は初期値です。

設定方法	設定値	内容
自動	Epson 写真用紙＜光沢＞	使用する用紙の種類を選択します。
	Epson スーパーファイン紙	
	Epson フォトマット紙	
手動	0.1mm	ギャップ調整パターン印刷後、パターンを確認してパネル上で設定してギャップ調整を行います。
	0.2mm	
	0.3mm	
	0.4mm	
	0.5mm	

ギャップ調整に関する詳細な説明は以下を参照してください。

☞ 本書 65 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

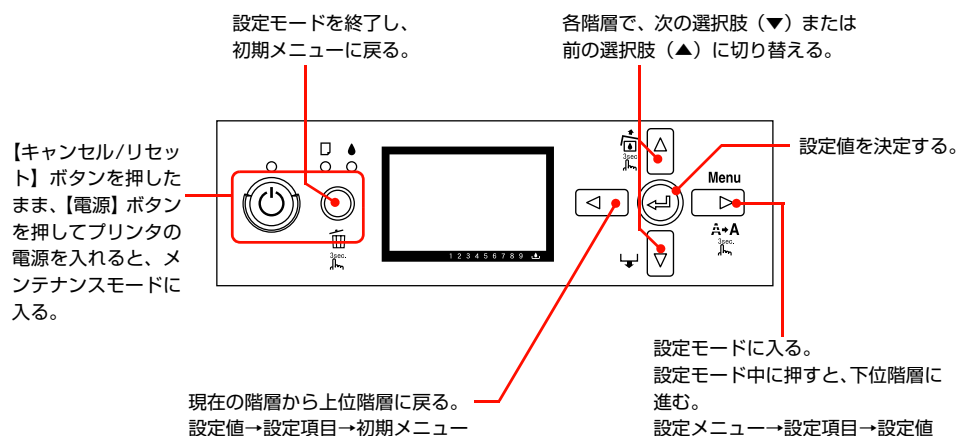
[ネットワーク設定] メニュー

ネットワークに接続する場合に設定します。　　　　　は初期値です。

設定項目	設定値	内容
ネットワーク I/F	しない	パネルからネットワーク設定を行います。[する] にすると、以下の設定項目が表示されます。各項目を設定した後、[ネットワーク設定] メニューから【左】ボタン（◁）で上の階層に戻ると、ネットワークが再起動され、約 15 秒後にネットワーク接続が有効になります。(再起動中は設定メニューの [ネットワーク] は表示されません。)
	する	
IP アドレス設定	自動	どの IP アドレスで行うかを設定します。[パネル] を選択すると、[IP,SM,DG 設定] が表示されます。
	パネル	
	PING	
IP,SM,DG 設定	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。それぞれの値は、システム管理者にお尋ねください。	
APPLETALK	ON	AppleTalk の ON/OFF を設定します。
	OFF	
MS NETWORK	ON	MS Network の ON/OFF を設定します。
	OFF	
BONJOUR	ON	Bonjour の ON/OFF を設定します。
	OFF	
ネットワーク設定初期化	実行	設定した値を初期値に戻します。

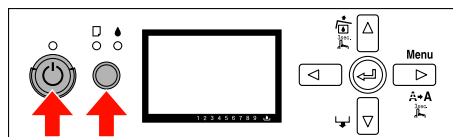
メンテナンスモード

表示言語や単位を変えたり、これまでに各メニューで設定した値を購入時の状態に戻したりすることができます。

メンテナンスモードの使い方

参考　各階層で【左】ボタン（◁）を押すと、1 つ上の階層に戻ります。

メンテナンスモードの開始と終了

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **【キャンセル/リセット】ボタン（🗑）を押したまま、【電源】ボタン（⏻）を押してプリンタの電源を入れます。**

ディスプレイにメンテナンスモードの初期メニューが表示されます。
メンテナンスモードの設定方法は、設定メニューと同じです。
☞ 本書 23 ページ「設定メニューの使い方」

3 **メンテナンスモードを終了するには、【電源】ボタン（⏻）を押してプリンタの電源を切ります。**

メンテナンスモードのメニュー一覧

（網掛け）は初期値です。

設定項目	設定値	説明
表示言語	英語	操作パネルに表示する言語を選択します。
	日本語	
	フランス語	
	ドイツ語	
	イタリア語	
	ポルトガル語	
	スペイン語	
	オランダ語	
単位設定	メートル	操作パネルやパターン印刷時に使用する長さの単位をメートルとフィートから選択します。
	フィート / インチ	
パネル設定初期化	実行	実行すると、パネル設定モードの設定値を工場出荷時の値に戻します。

4 用紙のセット

ここでは、本製品で使用できる用紙や用紙のセット方法を説明します。

使用可能な用紙

プリンタの性能を十分に発揮させるために、目的に合わせたエプソン製の専用紙が用意されています。高品質な印刷結果を得るために、エプソン製の専用紙の使用をお勧めします。用紙の詳細は、本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」をご覧ください。

印刷可能な用紙のサイズと厚さは以下の通りです。
用紙のサイズ、厚さによって給紙経路が異なります。

	ASF （オートシートフィーダー）	リア手差し	ボード紙トレイ （フロント手差し）
用紙幅	89 ～ 431.8mm	203 ～ 431.8mm	210 ～ 420mm
用紙長さ	127 ～ 950mm	254 ～ 950mm	279 ～ 594mm
用紙厚	0.08 ～ 0.30mm	0.29 ～ 0.50mm	1.20 ～ 1.50mm

エプソン製以外の用紙に印刷する場合の適切な設定や印刷手順は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。

用紙を大量に購入する際は、本製品でその用紙に印刷したときの仕上がり具合をあらかじめ確認しておくことをお勧めします。
☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「エプソン製以外の用紙への印刷」

！注 意

- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。
- 用紙は印刷直前にセットしてください。また、印刷作業が終了したら本体から取り外し、用紙の取扱説明書に従って保管してください。

用紙のセット

用紙のセット方法はサイズや厚さ、種類によって異なります。本機には 3 つの給紙経路があります。

- ASF（オートシートフィーダー）
- リア手差し
- ボード紙トレイ（フロント手差し）

用紙は温度や湿度の環境の変化によって、波打ったり、たわんだりすることがあります。このような用紙を使用すると、用紙サイズを正しく認識できなかったり正常に印刷できないことがあります。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。開封後の用紙は個装袋に戻して水平な状態で保管し、印刷の直前に袋から取り出して使うことをお勧めします。

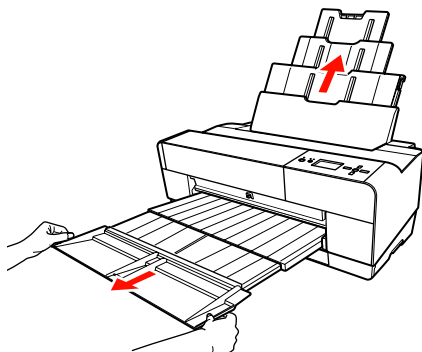
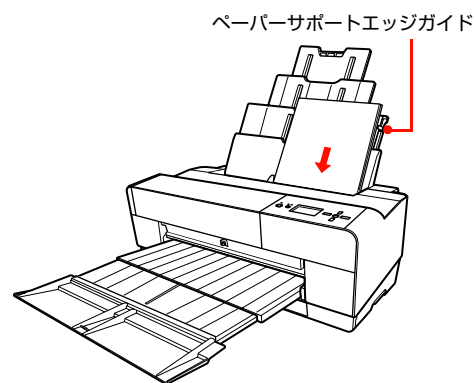
ASF(オートシートフィーダー)へのセット

用紙は縦長にセットします。ASF にセットできる用紙については以下のページを参照してください。

☞ 本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」

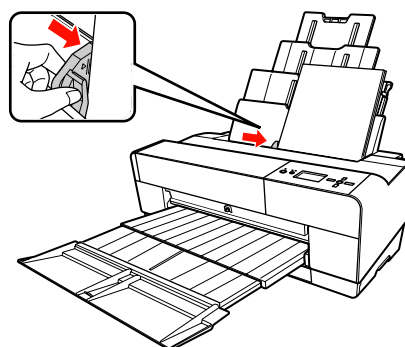
1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **用紙サポートと排紙トレイを開きます。**

排紙トレイは手前上に持ち上げるように引き出し、右奥にある ▷ マークとプリンタ本体側にある ◁ マークを合わせて固定してください。

3 **用紙を用紙サポートに縦長にセットします。**

参考

ペーパーサポートエッジガイドはA3以上の普通紙で給紙がうまくいかないときにのみ使用します。

☞ 本書 86 ページ「給紙ミス / 排紙のトラブル」

4 **エッジガイドを用紙の幅に合わせます。**

5 **ディスプレイで「印刷可能」であることを確認して印刷を実行します。**

! 注 意

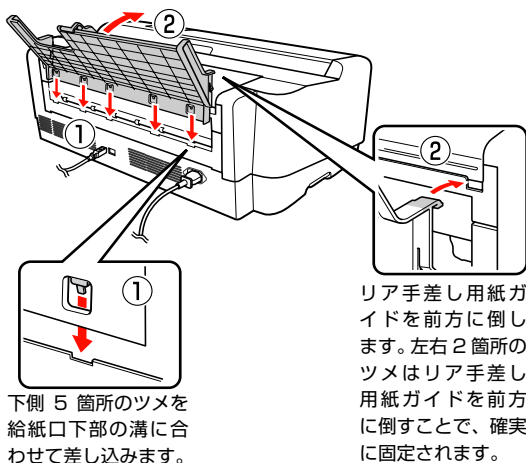
印刷中は、印刷品質を向上させるために、エッジガイドが用紙両側から約 3mm 離れます。印刷が終了すると元の位置に戻りますので、印刷中はエッジガイドに触れないでください。

リア手差し用紙ガイドへのセット(ファインアート系用紙)

背面給紙口からリア手差し用紙ガイドを使ってセットします。セットできる用紙は以下のページをご覧ください。

本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」

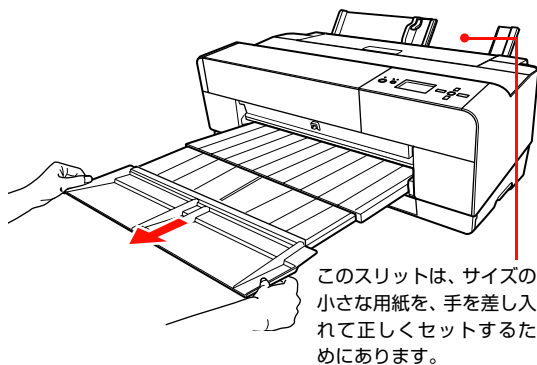
1 **プリンタの電源を入れます。**

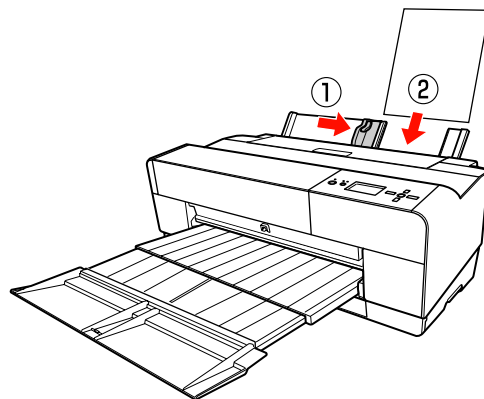
2 **リア手差し用紙ガイドを背面給紙口に取り付けます。**

下側 5 箇所のツメを給紙口下部の溝に合わせて差し込みます。

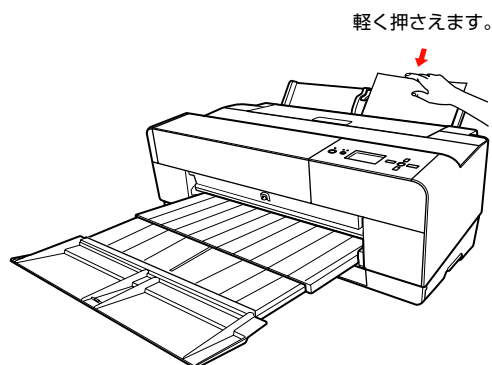
リア手差し用紙ガイドを前方に倒します。左右 2 箇所のツメはリア手差し用紙ガイドを前方に倒すことで、確実に固定されます。

3 **排紙トレイを開きます。**

排紙トレイは手前上に持ち上げるように引き出し、右奥にある ▷ マークとプリンタ本体側にある ◁ マークを合わせて固定してください。

このスリットは、サイズの小さな用紙を、手を差し入れて正しくセットするためにあります。

4 **リア手差し用紙ガイドに 1 枚用紙をセットします。**

①エッジガイドを用紙の幅に合わせます。
②用紙は奥に突き当たるまで挿入します。

5 **ディスプレイで「印刷可能」であることを確認して印刷を実行します。**

用紙が引き込まれるまで、用紙を軽く押さえて、確実に給紙されるようにします。

ボード紙トレイへのセット(厚紙)

用紙は縦長にセットします。ボード紙トレイにセットできる用紙は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」

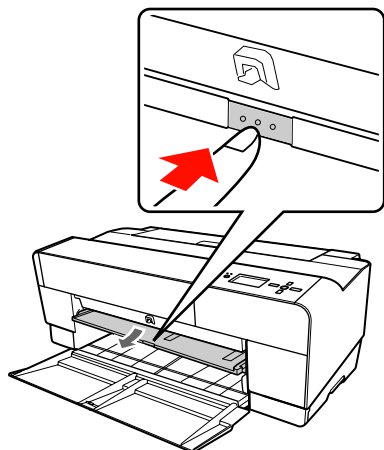
1 **プリンタの電源を入れます。**

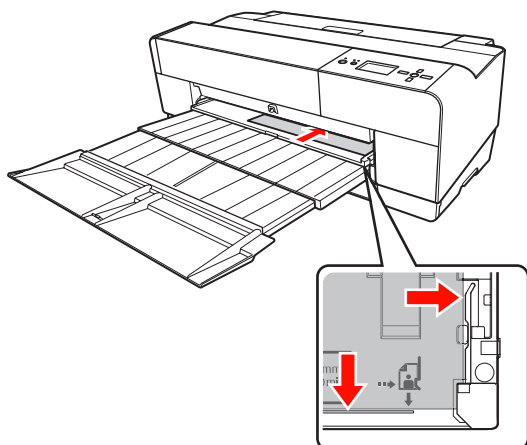
2 **排紙トレイカバーを開きます。**

開き方は、以下を参照してください。初めて使用するときは、内部に保護材が残っていないか確認してください。

☞ 本書 13 ページ「保護材の取り外し」

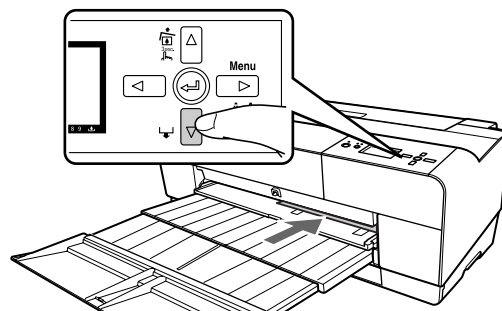
3 **排紙トレイ上部のボード紙トレイを出します。**

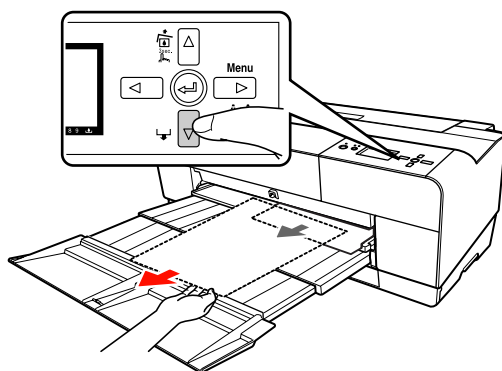
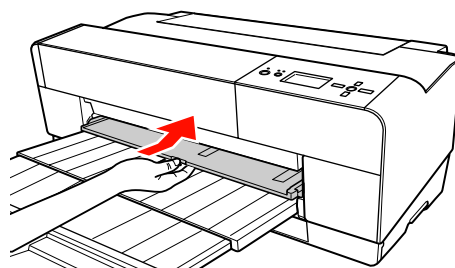
ボード紙トレイは一旦奥に押すと手前下に引き出されます。

4 **排紙トレイを開きます。**

5 **厚紙をボード紙トレイにセットします。**
印刷面を上にして縦方向に 1 枚だけ挿入し、用紙後端をトレイ上のガイドラインに、用紙右端をトレイの右端に合わせます。

!注意

必ず前面から挿入してください。背面から挿入すると、プリンタの動作不良や故障につながるおそれがあります。
厚紙が反っていると正常な給紙ができません。厚紙を水平な面に置いて、反りが 8mm 以内であることを確認してください。

6 **【用紙送り】ボタン（▽）を押します。**

用紙が後方に送られ、印刷の準備が完了します。

7 **ディスプレイで「印刷可能」であることを確認して印刷を実行します。**

8 **印刷が終わったら、【用紙送り】ボタン（▽）を押して用紙を開放した後、用紙を引き出します。**

9 **ボード紙トレイを閉じます。**

!注意

給紙動作のため、壁からプリンタ後端までは少なくとも 400mm あけてください。

5 基本的な印刷方法

ここでは、本製品の基本的な使い方を説明します。

- Windows または Mac OS X 環境にプリンタドライバがインストールされていることを前提として説明しています。
- 画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。

印刷の開始

印刷は接続したコンピュータから用紙サイズや給紙方法などを設定して実行します。

印刷の手順（Windows）

用紙設定

1 **アプリケーションソフトを起動します。**

2 **［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリンタ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。**

3 **各項目を設定します。**
［ページ設定］画面で用紙サイズなど必要な項目を設定します。
<例>「ペイント」の場合

> **参考**
> アプリケーションソフトによっては、独自の［ページ設定］画面が表示されることがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

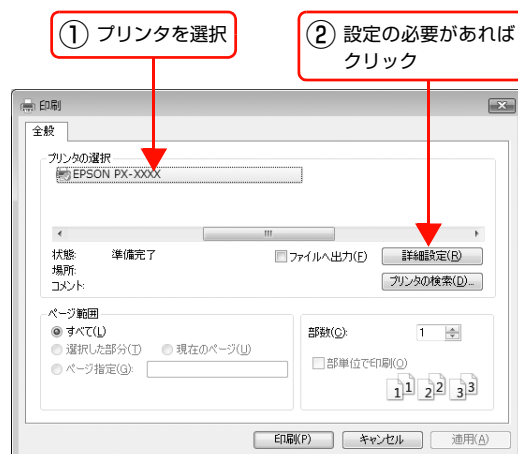
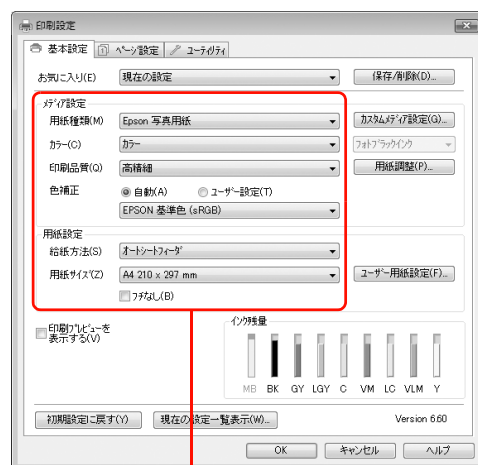
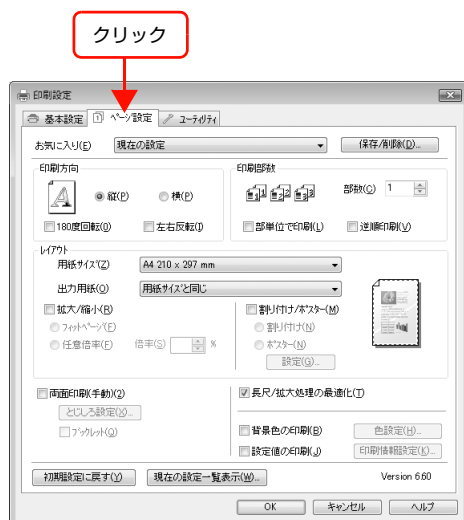
4 **［OK］をクリックして、［設定］画面を閉じます。**
この後に印刷データファイルを作成します。

印刷設定と印刷の開始

1 **プリンタを印刷可能な状態にします。**

① 電源を入れます。
② 印刷する用紙をセットします。
☞ 本書 35 ページ「用紙のセット」

2 **印刷データを作成したら［ファイル］メニューから［印刷］（または［プリント］）を選択します。**

3 **プリンタが選択されていることを確認し、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックして設定画面を表示させます。**

4 **［基本設定］タブをクリックして、セットした用紙に合わせて用紙種類や印刷品質、給紙方法、用紙サイズなどを設定します。**
［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。

5 必要に応じて［ページ設定］タブをクリックして各項目を設定します。

6 設定が完了したら、［印刷］をクリックして印刷を実行します。

画面上にプログレスメータが表示され、印刷が始まります。

印刷の手順（Mac OS X）

用紙設定

1 アプリケーションソフトを起動します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリンタ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。

3 次の項目を設定します。

① 対象プリンタ：対象プリンタを選択します。
② 用紙サイズ：プリンタで使用できる用紙のリストが表示されます。お使いの用紙のサイズと目的に合わせて選択してください。
③ 方向：用紙方向を選択します。

用紙サイズ選択

Mac OS X のドライバでは、［用紙サイズ］の選択肢が複雑になっています。
例えば A2 サイズでは、次のように 5 種類の中から選択します。また、（四辺フチなし、原寸維持）は別の項目からの選択となります。さらに使用環境 * によって選択肢の表示が変わります。

* 直前の印刷時に選択された［用紙サイズ］が表示されています。

- ［四辺フチなし、自動拡大］または［フチあり］で印刷する場合

- ［四辺フチなし］、［原寸維持］で印刷する場合

フチなし印刷の詳細な設定は、以下をご覧ください。

☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「フチなし印刷」

自動拡大と原寸維持の設定は、次項をご覧ください。

4 **［OK］をクリックして、設定画面を閉じます。**

この後に印刷データファイルを作成します。

Mac OS X の［用紙サイズ］の選択肢

- XXXX（四辺フチなし、自動拡大）

  四辺フチなし印刷するときに選択します。自動拡大でのフチなし印刷は、プリンタドライバが印刷データを用紙サイズより左右上下に 5mm ずつ拡大し、はみ出させて印刷します。はみ出し量は［はみ出し量設定］の画面で変更できます。印刷データを自動的に拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。

- XXXX（四辺フチなし、原寸維持）

  原寸維持で四辺フチなし印刷するときに選択します。原寸維持は、印刷データの大きさを維持したまま印刷することでフチなし印刷します。あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙サイズより上下左右 5mm 大きくなるように印刷データを作成して印刷します。プリンタドライバも印刷領域を上下左右 5mm ずつ広げて印刷し、フチなし印刷を実現します。

印刷設定と印刷の開始

1 **プリンタを印刷可能な状態にします。**

① 電源を入れます。

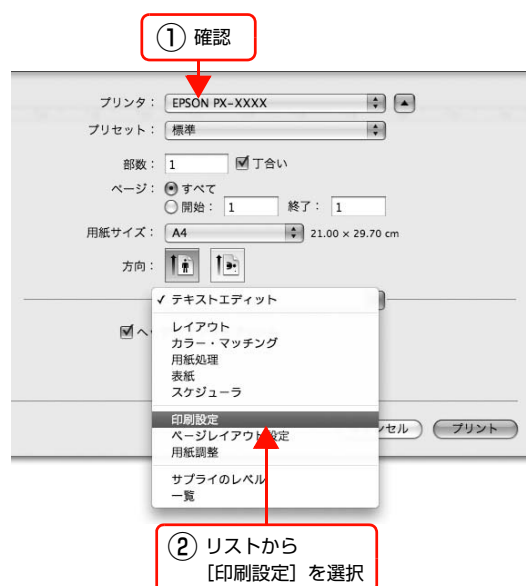
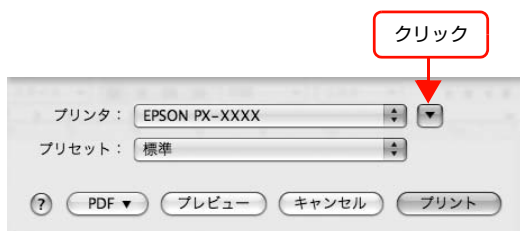
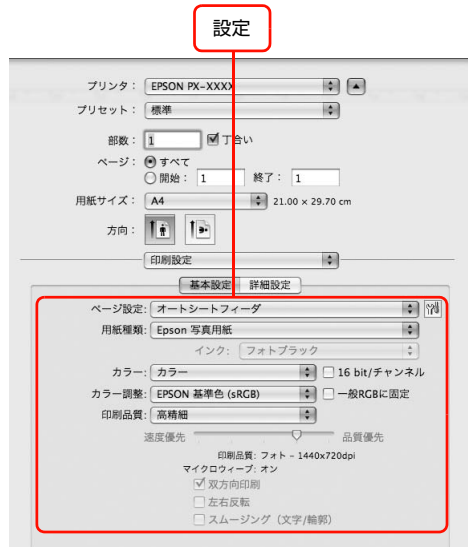
② 印刷する用紙をセットします。

☞ 本書 35 ページ「用紙のセット」

2 **印刷データファイルを作成したら［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

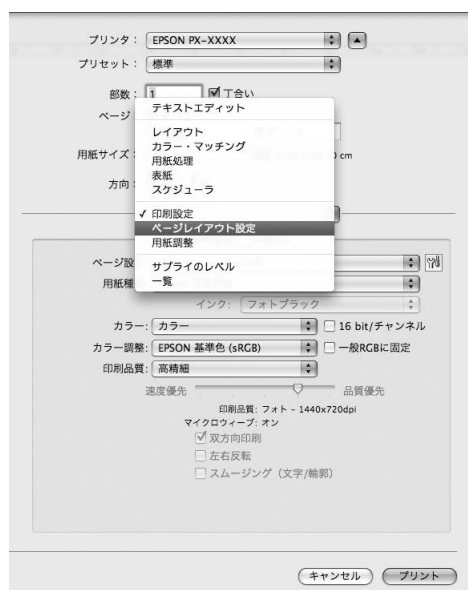
プリンタ名が表示されないときは、「プリンタの追加」を行ってください。

☞ 本書 16 ページ「プリンタソフトウェアのインストール」

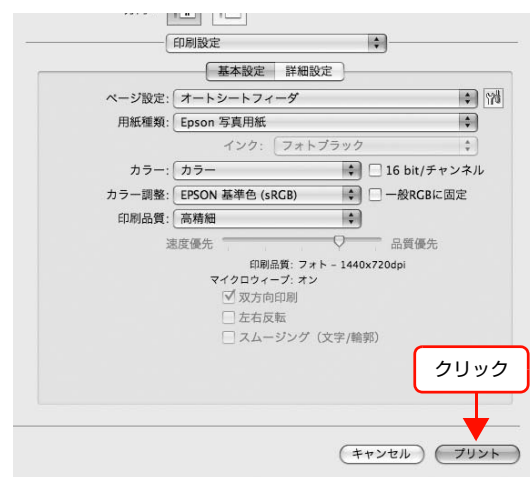
3 **プリンタ名が表示されていることを確認し、リストから［印刷設定］を選択します。**

Mac OS X v10.5 では、さらに矢印（）をクリックします。

4 **各項目を設定します。**

セットした用紙に合わせて［用紙種類］を選択します。通常は［印刷設定］の各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

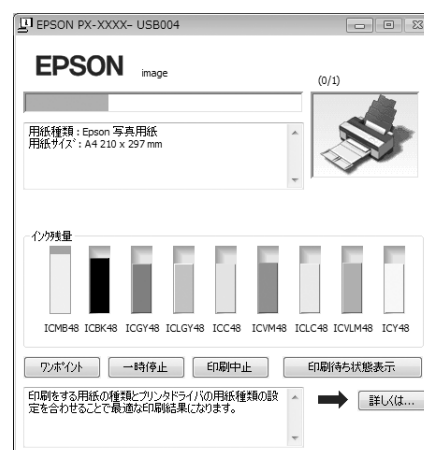
5 **必要に応じて、リストからほかの項目を選択します。**

本製品独自の設定画面には以下の項目があります。

Mac OS X v 10.5

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4

6 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

印刷が始まります。

印刷状態の確認（Windows）

EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされていると、印刷を実行したときに進行状況（コンピュータの処理状況）を表示するプログレスメータがコンピュータのモニタに表示されます。

> **参考**
>
> 操作パネルの［プリンタステータス］メニューで印刷可能枚数やインク残量などの情報を確かめることもできます。
>
> ☞ 本書 28 ページ「［プリンタステータス］メニュー」

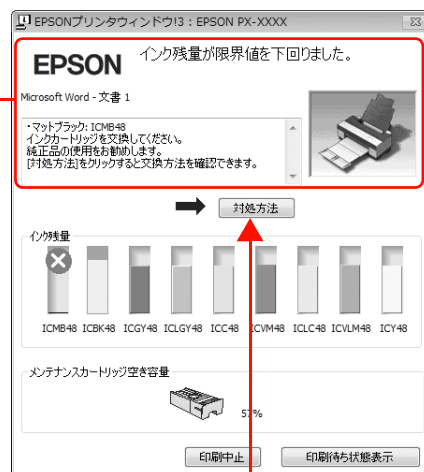
印刷状態の確認（Mac OS X）

印刷を実行すると、［Dock］内に［プリンタ］アイコンが表示されます。［プリンタ］アイコンをクリックすると詳細な進行状況が表示されます。

印刷中に問題が起こったときは

問題が発生したり、インクカートリッジ交換が必要になると EPSON プリンタウィンドウの［プリンタウィンドウ］にエラーメッセージが表示されます。

［対処方法］をクリックし、メッセージに従って対処してください。

＜ Windows の場合＞

＜ Mac OS X の場合＞

印刷中にエラーが発生した場合はエラーメッセージが表示されます。詳細なエラー対処方法がわからない場合は印刷を中止して、EPSON プリンタウィンドウを起動して確認してください。

印刷の中止

ここでは、印刷の中止方法を説明します。

印刷の中止方法

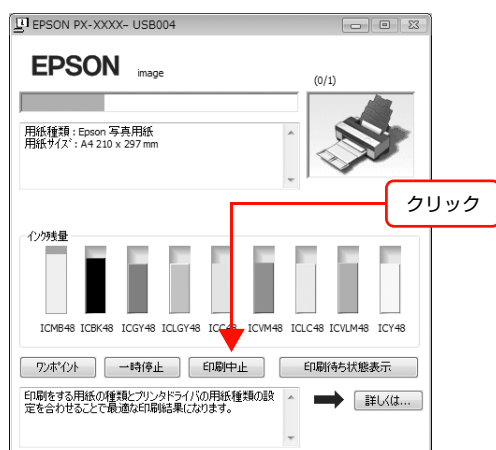
印刷を中止するには状況に応じて以下の方法があります。

印刷状況	コンピュータ側での中止	プリンタ側での中止	操作
データ転送中	○	−	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。
データ転送中 / 印刷中	○	○	• コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側でも中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタをリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、ほかの印刷データもすべて削除されます。
印刷中	−	○	ほかの印刷データもすべて削除されます。

コンピュータ側で中止する（Windows）

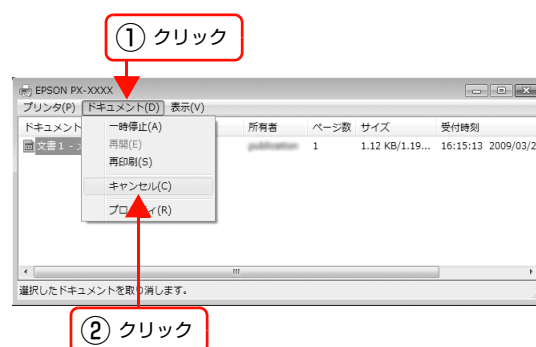
印刷の進行状況を示すプログレスメータが表示されているとき

［印刷中止］をクリックします。

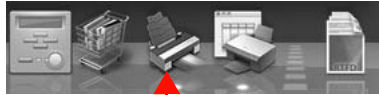
＜例＞

プログレスメータが表示されていないとき

1 **タスクバーにあるプリンタのアイコンをクリックします。**

2 **中止したい印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。**

すべての印刷データを削除するときは、［プリンタ］メニュー内の［すべてのドキュメントの取り消し］または［印刷ドキュメントの削除］をクリックします。

プリンタへのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。このようなときは、プリンタのリセットで印刷中止します。

コンピュータ側で中止する（Mac OS X）

1 ［Dock］内の［プリンタ］アイコンをクリックします。

2 中止したい印刷データをクリックし、［削除］をクリックします。

画面に印刷キャンセルに関する画面が表示されたときは、画面の指示に従ってください。これで印刷が中止されます。

プリンタ本体で中止する

【リセット】ボタン（ 🗑 ）を 3 秒以上押します。

プリンタがリセットされ、印刷が中止されます。

上記の操作では、コンピュータの印刷待ちデータを削除することはできません。印刷待ちデータを削除するときは前項の「コンピュータ側で中止する」をご覧ください。

ブラックインク種類の変更

本機にはフォトブラック、マットブラックの 2 種類のブラックインクがセットされています。

フォトブラックは光沢系用紙において粒状感を軽減し、なめらかな仕上がりを実現します。マットブラックはマット系用紙で高濃度の発色が得られます。

これらのブラックインクは、印刷用紙に応じて自動的に切り替えて使用されます。Windows や Mac OS X のプリンタドライバでは、用紙とブラックインクの組み合わせが合っていないと、印刷開始前に切り替え処理が行われます。

フォトブラックからマットブラックへの切り替えには約 2 分 30 秒かかり、約 1.6ml のインクが消費されます。マットブラックからフォトブラックへの切り替えには約 3 分 30 秒かかり、約 4.6ml のインクが消費されます。

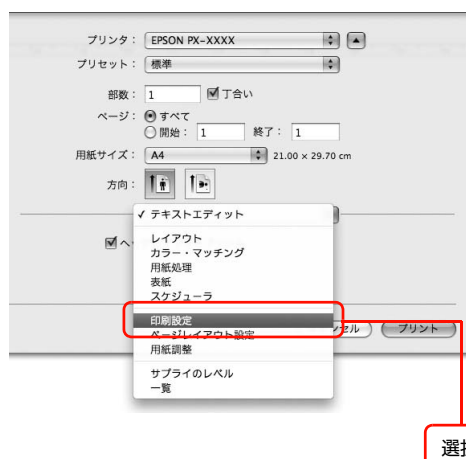
必要以上にインクを消費しないために、計画的に印刷することをお勧めします。

使用する用紙とブラックインク種類の組み合わせについては以下のページを参照してください。

本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」

コンピュータ側で変更する

1 **ドライバのプロパティから基本設定タブを選択します。**

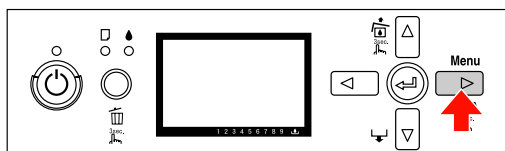
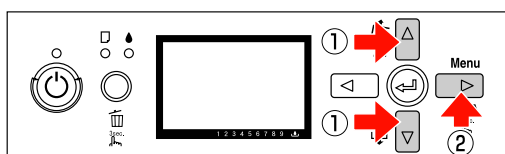
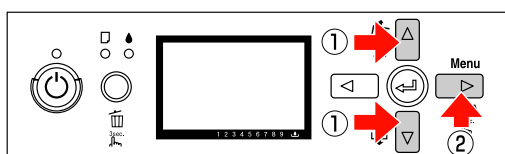
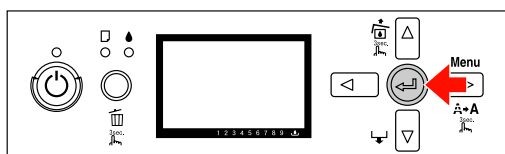
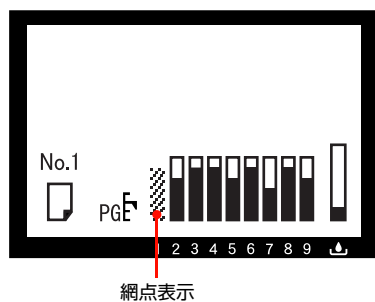
Mac OS X の場合は［印刷設定］を選択します。

2 **用紙種類から、印刷する用紙を選択します。**

選択した用紙がプリンタ側で設定されているブラックインクの種類と一致していないときは、ディスプレイに［インク切り替え中］と表示され、インク切り替えが行われます。

3 **ブラックインク種類の切り替えが終了すると、印刷が開始されます。**

プリンタ本体で変更する

操作パネルで、使用するブラックインク種類を変更することもできます。

1 【Menu/ 右】ボタン（▷）を押して、パネル設定モードに入ります。

2 【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）で、［メンテナンス］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。

3 【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）で、［K インク切替え］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。

4 【実行】ボタン（⏎）を押します。

ディスプレイのインクアイコン表示で、網点表示になっているブラックインクが切り替わります。

6 メンテナンス

ここでは、本製品を最適な状態でご使用いただくためのメンテナンス方法などについて説明します。

日常の管理

設置に適した環境

本製品は以下の条件を満たす場所に設置してください。

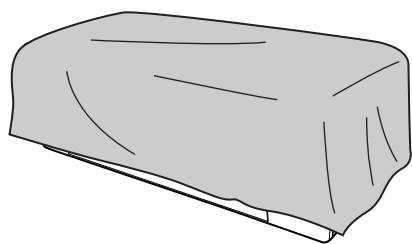
- プリンタの質量（19.8kg）に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- プリンタの操作やメンテナンスに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
  ☞ 本書 97 ページ「設置スペース」
- 温度 10 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%の場所

ただし、上記の条件を満たしていても、使用する用紙の条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ず用紙の条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、用紙の取扱説明書をご覧ください。

冬に乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光があたる場所で使用するときは、乾燥しないように注意し、条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

印刷時以外のご注意

プリンタのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりしてしまいます。使用時以外は、トップカバーを閉じ、排紙トレイ、用紙サポートは収納してください。

また、長期間使用しないときなどは、ホコリが入らないよう、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。

参考

常に最高品位の印刷をするためには、長期間使用しないときだけでなく、印刷前にはノズルチェックなどのプリントヘッドの調整をすることをお勧めします。約 6ヵ月間使用しなかったときや、どちらかのブラックインクを 6ヵ月使用しなかったときは、プリンタの電源を入れるとプリンタが自動的にクリーニングを行います。ディスプレイにはクリーニング中のメッセージおよび進行状況が % で表示されます。パワークリーニングは必要に応じて行ってください。
☞ 本書 59 ページ「プリントヘッドの調整」

インクカートリッジの取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

- 良好な品質の印刷結果を得るために、インクカートリッジは、装着後 6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている有効期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものを使用すると印刷品質に影響を与えることがあります。
- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジはICチップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用可能です。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクは －15℃ 以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 ℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジは、セット前に水平方向に（5 秒ほど）よく振ってください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全スロットにセットしてください。全スロットにセットしていないと印刷できません。
- インクカートリッジの交換は、プリンタの電源が入っている状態で行ってください。電源が切れている状態で交換すると、インク残量が正しく検出されないため正常に印刷できなくなります。

- インクカートリッジ交換中にプリンタの電源を切らないでください。インクの充てんが不十分になったり、プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなったりするおそれがあります。
- インクが残った状態で取り外したカートリッジに交換するときは、新品のインクカートリッジも用意してください。プリンタにインクを充てんする（インクが消費されます）際に、充てんに必要な容量のインクが残っていないと、新品のインクカートリッジに交換する必要があります。
- 短期間に、インクカートリッジの交換やクリーニングを繰り返すと、メンテナンスカートリッジ内のインク蒸発が少ないためメンテナンスカートリッジのインクがすぐにいっぱいになる可能性があります。メンテナンスカートリッジの空き容量が少ない場合は、メンテナンスカートリッジの予備を用意しておいてください。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内にインクが残ります。

保管時のご注意

インクが残った状態で取り外したカートリッジは、インクカートリッジの個装箱に印刷されている有効期限内であれば、再び交換して使用できます。
取り外したインクカートリッジは、インクの供給孔部にホコリが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下で保管してください。袋などに入れる必要はありません。また、供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないように注意してください。

用紙の取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

用紙を取り扱う際は次の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- エプソン製の専用紙は一般室温環境下（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が印刷品質に影響します。
- 用紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、たわんでしまうことがあります。用紙を傷付けたり汚したりしないように、手で平らな状態に修正してからセットしてください。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、なくさないでください。

印刷後のご注意

印刷後は、以下の点にご注意ください。

- 印刷後の用紙は、重なったり折れ曲がったりしないように注意して、乾燥させてください。重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡は乾燥させればなくなりますが、重なっている状態で放置すると、乾燥させても跡が消えなくなります。
- 乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐために用紙の取扱説明書を参考にして展示 / 保存してください。適切な展示 / 保存をすることによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

参考

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製の専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。

- 各エプソン製の専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙の取扱説明書をご覧ください。
- 写真やポスターなどの印刷物は照明（光源 *）の違いなどによって、色の見え方が異なります。本製品の印刷物も光源の種類によって色が異なって見える場合があります。
  * 光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

保管時のご注意

用紙を保管する際は以下の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の用紙は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 印刷した用紙を保存する場合は、色合いを保つために、高温、多湿、直射日光を避けて、暗所に保存することをお勧めします。

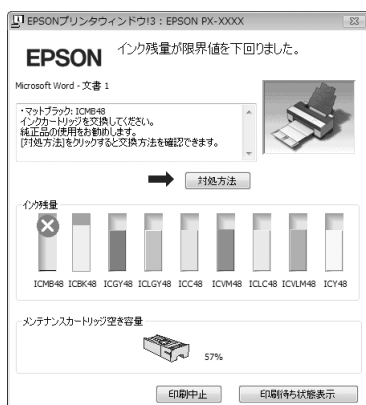
インクカートリッジの交換

ここでは、インクカートリッジの交換方法を説明します。

! 注意 電源が切れている状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクチェックランプが点灯する前にインクが使用できない状態になったり、正常な印刷ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。

インクが残り少なくなったときは

インクチェックランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。また、EPSON プリンタウィンドウがインストールされていると、インクが残り少なくなったときには、コンピュータの画面にメッセージが表示されます。インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジを交換することをお勧めします。9 種類のインクカートリッジのうちひとつでもインクが使用できない状態にあると印刷ができなくなります。印刷の途中でインクが使用できなくなったときは、そのインクカートリッジを交換すると印刷は続行されます。

＜ Windows の場合＞

＜ Mac OS X の場合＞

※ 画面上の［対処方法］をクリックすると交換手順が表示されますので、その表示に従うと簡単に交換できます。

インク残量を確認したいときは

プリンタの操作パネルで確認する

ディスプレイには常時インク残量の目安が表示されています。

☞ 本書 22 ページ「④ 各色インク残量の目安」

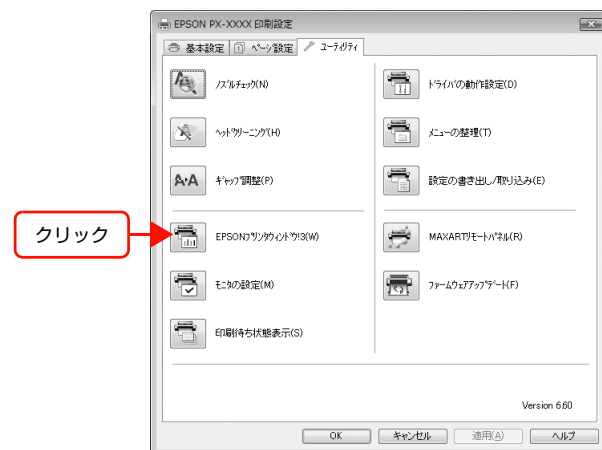
正確なインク残量はパネル設定において［プリンタステータス］メニューから確認することができます。大量に印刷を行う前には各色のインク残量を確認し、残量が少ないインクがあれば、新しいインクカートリッジを準備してください。

☞ 本書 25 ページ「C. プリンタの各種情報を表示する場合」

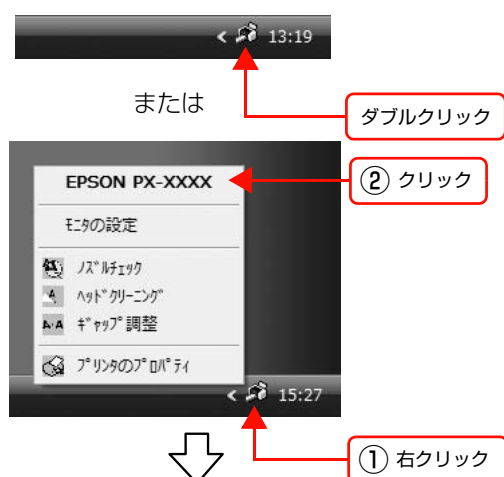
プリンタドライバで確認する（Windows）

EPSON プリンタウィンドウ !3（Windows）を使用して、インク残量などを画面上に表示させることができます。以下 2 通りの方法でインク残量を確認できます。

・方法 1

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。

・方法 2

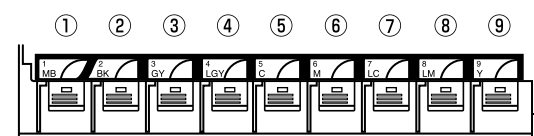
［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を設定しておくと、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューからプリンタ名をクリックします。

☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「［モニタの設定］画面」

プリンタドライバで確認する（Mac OS X）

EPSON Printer Utility3 を使用して、インク残量などを画面上に表示させることができます。以下の方法で［インク残量］モニタを開きます。

インクカートリッジの種類

本製品では、以下のインクカートリッジを使用します。すべてのスロットにインクカートリッジがセットされていないと印刷できません。

スロット番号	インクの色	型番
1 MB	マットブラック	ICMB48
2 BK	フォトブラック	ICBK48
3 GY	グレー	ICGY48
4 LGY	ライトグレー	ICLGY48
5 C	シアン	ICC48
6 VM	ビビッドマゼンタ	ICVM48
7 LC	ライトシアン	ICLC48
8 VLM	ビビッドライトマゼンタ	ICVLM48
9 Y	イエロー	ICY48

インクカートリッジスロット部

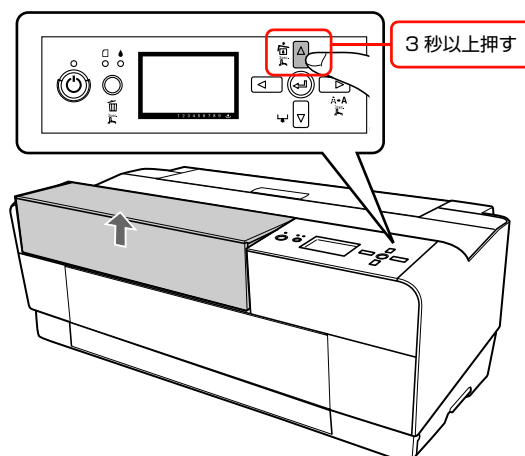
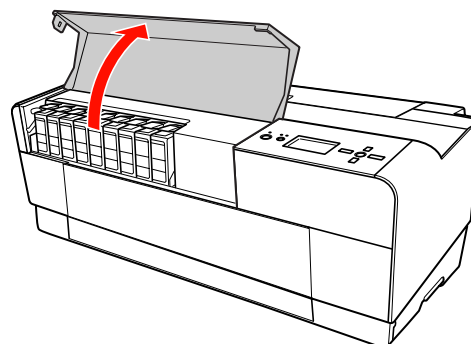
！注 意

本製品のプリンタドライバは、本製品に対応した純正インクカートリッジを前提に色調整されていますので、本製品に対応した純正品以外を使うと印刷品質が低下したり、プリントヘッドの目詰まりやインク漏れなどの故障の原因となる可能性があります。また、インク残量を検出できないこともあります。

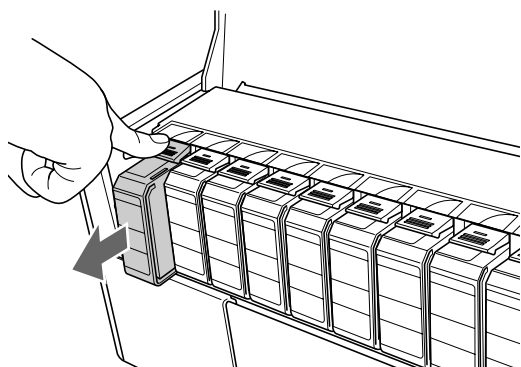
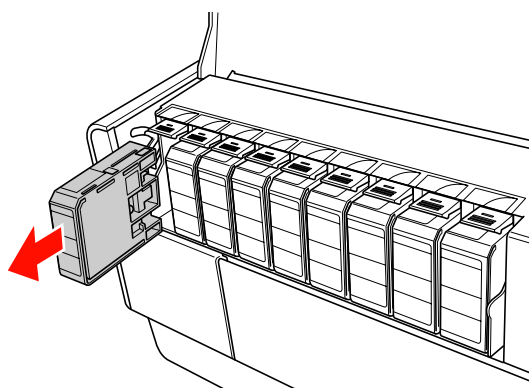
インクカートリッジの交換手順

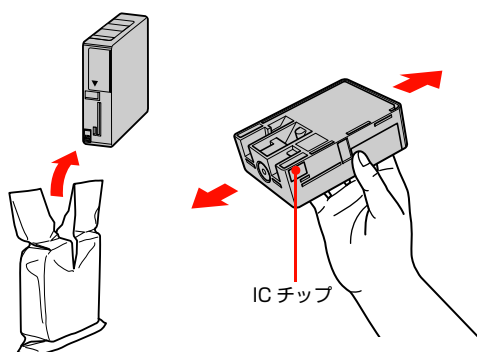
1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **操作パネルの【インクカバーオープン】ボタン（△）を３秒以上押します。**

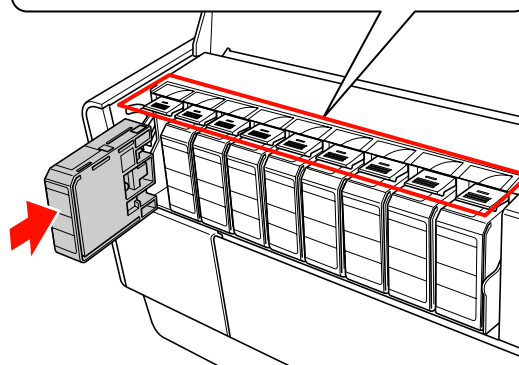
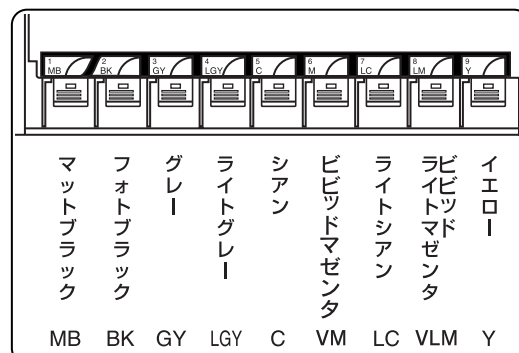
インクカバーのロックが開放され、同時にカバーが5mm ほど持ち上がります。インクカートリッジ交換を促すメッセージが表示されているときは、押すとすぐカバーが持ち上がります。

3 **インクカバーを開きます。**

インクカバーはロックが開放されるまで、無理に開かないでください。

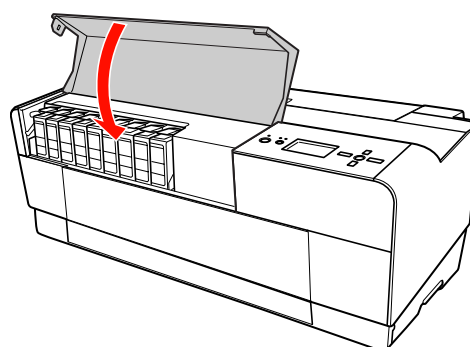
4 **交換するインクカートリッジのインクレバーを下に押します。**

カチッと音がしてインクカートリッジが少し飛び出します。

5 **インクカートリッジを引き抜きます。**

> **！注意**
>
> インク供給部からインクが漏れることがあります。手や服を汚さないように注意してください。

6 **インクカートリッジを袋から取り出し、図のように持って 5 秒ほど振ります。**

> **！注意**
>
> - インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
> - インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。

7 **インクカートリッジをカチッと音がするまで差し込みます。**

インクカートリッジの色と本体ラベルの色を合わせてください。

> **！注意**
>
> インクカートリッジは 9 種類すべてをセットしてください。ひとつでもセットされていないと印刷できません。

8 **インクカバーを閉じます。**

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インクカートリッジの回収について

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

＜ http://www.epson.jp/inkrecycle/ ＞

メンテナンスカートリッジの交換

メンテナンスカートリッジは、ヘッドクリーニング時やブラックインク切り替え時に、用紙に印刷される以外で消費されるインクを吸収するためにあります。操作パネルのディスプレイに「カートリッジ空き容量不足」と表示された時点で新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。「カートリッジ空き容量なし」と表示されたらメンテナンスカートリッジを交換します。

メンテナンスカートリッジの空き容量を確認したいときは

プリンタの操作パネルで確認する

ディスプレイには常時メンテナンスカートリッジの空き容量の目安が表示されています。

本書22ページ「⑤ メンテナンスカートリッジの空き容量の目安」

正確な空き容量はパネル設定において[プリンタステータス]メニューから確認することができます。大量に印刷を行う前には空き容量を確認し、空き容量が少ない場合は新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。

本書23ページ「設定メニューの使い方」および28ページ「[プリンタステータス]メニュー」

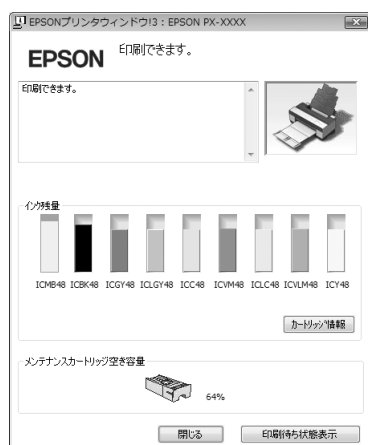
プリンタドライバで確認する

EPSON プリンタウィンドウ !3（Windows）または EPSON プリンタウィンドウ（Mac OS X）を使用して、メンテナンスカートリッジの空き容量を画面上に表示させることができます。手順は「インク残量の確認」と同じです。以下を参照してください。

< Windows の場合>

本書52ページ「プリンタドライバで確認する（Windows）」

< Mac OS X の場合>

本書53ページ「プリンタドライバで確認する（Mac OS X）」

確認画面（例：Windows）

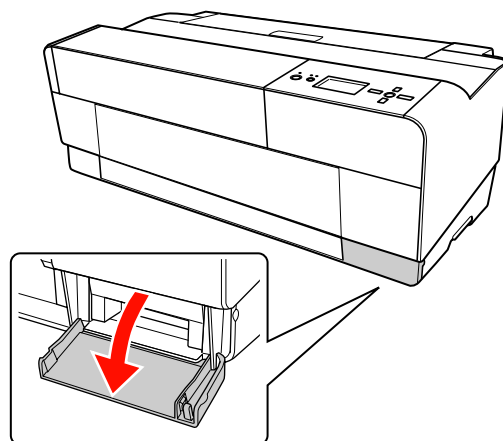
メンテナンスカートリッジの交換手順

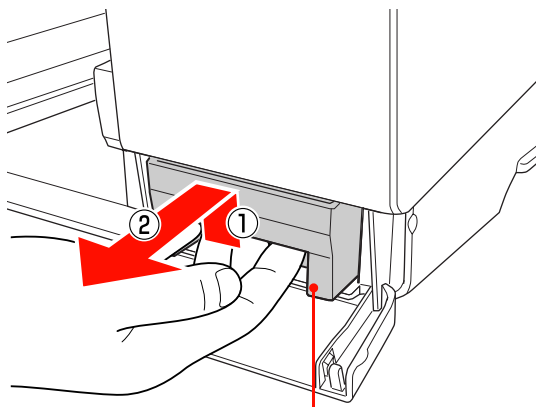
本製品で使用できるメンテナンスカートリッジの当社純正品は以下の通りです。

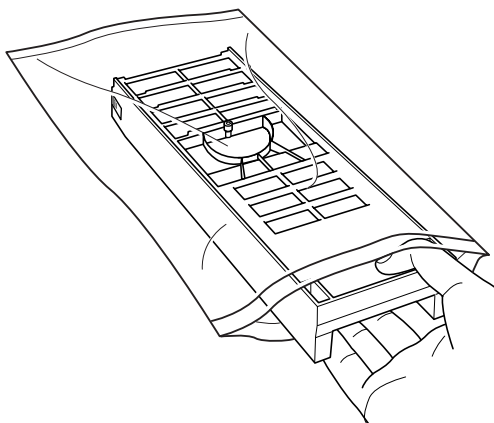
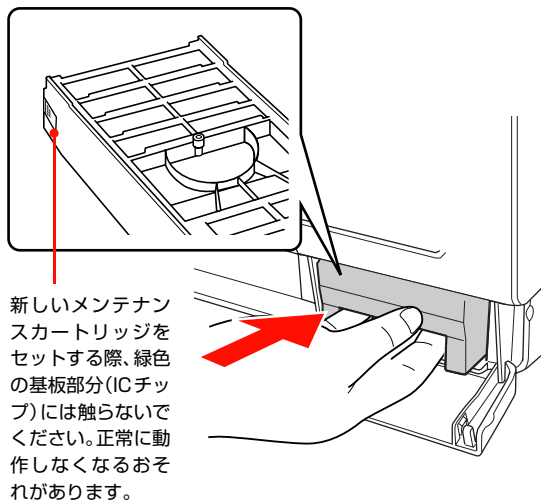
名称	型番
メンテナンスカートリッジ	ICMT1

！注意
印刷中にメンテナンスカートリッジの交換はしないでください。

1. **プリンタの電源を切ります。**

2. **メンテナンスカートリッジカバーを開きます。**

3. **新しいメンテナンスカートリッジを袋から取り出して準備します。**

4 **メンテナンスカートリッジを傾けないように注意して、プリンタ本体から静かに引き出します。**

①一旦押し上げて、②引き出します。

5 **使用済みメンテナンスカートリッジを、新しいメンテナンスカートリッジに添付されている透明袋に入れ密封します。**

6 **新しいメンテナンスカートリッジを本体にセットします。**

7 **メンテナンスカートリッジカバーを閉じます。**

使用済みメンテナンスカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのメンテナンスカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

メンテナンスカートリッジの回収について

エプソンは使用済み純正メンテナンスカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正メンテナンスカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

< http://www.epson.jp/inkrecycle/ >

プリントヘッドの調整

印刷物に白い線が入る、印刷が汚いなど、印刷状態がおかしいと感じたら、プリントヘッドの調整が必要です。本製品には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

手動で実行するクリーニング機能

印刷の状況に応じて、手動でクリーニングを行います。

調整項目	ドライバユーティリティから実行	MAXART リモートパネルから実行	プリンタから実行	内容
ノズルチェック	○	○	○	ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認します。
ヘッドクリーニング	○	○	○	印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。
パワークリーニング	−	○	○	ヘッドクリーニングを数回繰り返してもノズルが詰まっているときに、より強力なクリーニングを行います。

自動的に行われるクリーニング機能（自動メンテナンス機能）

調整項目	内容
セルフクリーニング	プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にすべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能です。電源を入れたときや印刷を開始するときなどに行われます。
キャッピング	プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。プリントヘッドが右端に位置しているときはキャッピングされています。
パワークリーニング	6ヵ月以上プリンタを使用しなかった場合と 6ヵ月以上どちらかのブラックインクを使用しなかった場合に電源を入れると実行されます。

プリントヘッドの位置調整機能

手動でプリントヘッドのズレを修正します。

調整項目	ドライバユーティリティから実行	MAXART リモートパネルから実行	プリンタから実行	内容
ギャップ調整	○	○	○	印刷した画像が荒れている、ぼやけた印象になるときは、ギャップ調整でプリントヘッドの位置を調整できます。

MAXART リモートパネルとは、本製品に同梱されているソフトウェアで、各種メンテナンスを行うことができるユーティリティです。
☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「MAXART リモートパネル」

以下のいずれかの方法で起動します。

Windows の場合

プリンタドライバの［ユーティリティ］画面で［MAXART リモートパネル］をクリックする

Mac OS X の場合

- デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする
- ［アプリケーション］フォルダ内の［MAXART Remote Panel］フォルダを開き、［MAXART リモートパネル］アイコンをクリックする
- ［アプリケーション］フォルダ内の［EPSON Printer Utility3］アイコンをダブルクリックし、PX-5002 を選択して、［MAXART リモートパネル］アイコンをクリックする

MAXART リモートパネルからの操作の詳細については、MAXART リモートパネルを起動した画面にある［ヘルプ］をクリックし、オンラインヘルプをご覧ください。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド *[1] のノズル *[2] が目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空いたりしたら、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを解消してください。

*[1] プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。

*[2] ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。外部からは見えない位置にある。

ノズルチェックを行うには、2 つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- プリンタの操作パネルから行う

インクチェックランプの点灯中は実行できません。

プリンタドライバから行う

ここでは Windows を例に説明します。

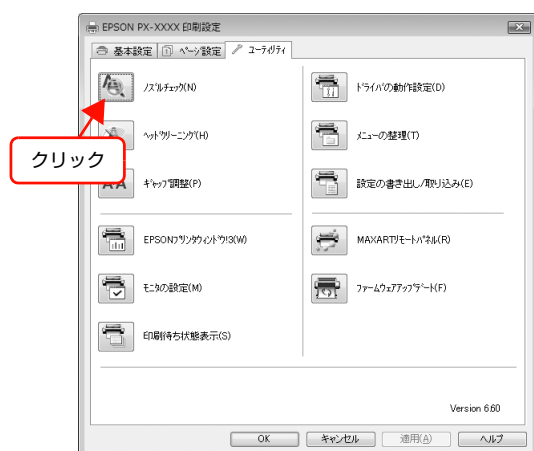
Mac OS X では、［EPSON Printer Utility3］を使用します。

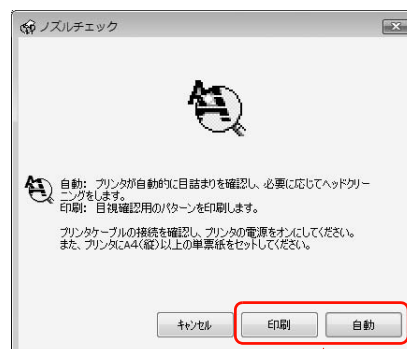
取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「ユーティリティの使い方」

1 **A4 サイズ以上のエプソン製の専用紙をセットします。**

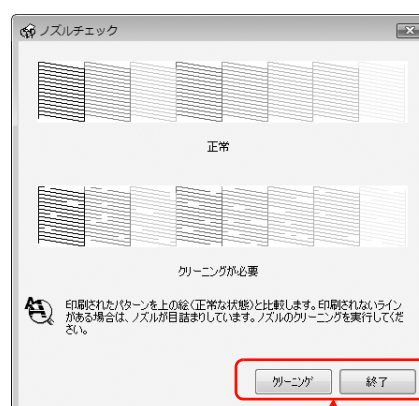
使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。ボード紙トレイにセットされている用紙には印刷できません。

2 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

3 **［ノズルチェック］をクリックします。**

4 **［自動］または［印刷］をクリックします。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

- ［自動］をクリックした場合は、ノズルチェックパターン印刷後、ノズルが目詰まりしていると自動的にクリーニングします。以上で手順は完了です。
- ［印刷］をクリックした場合は、手順 5 へ進みます。

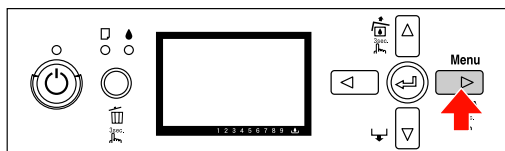
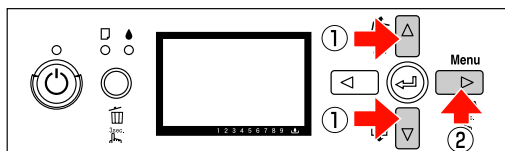
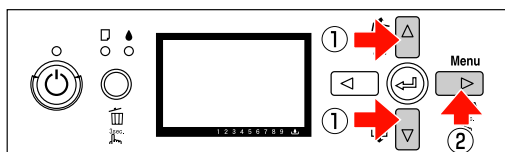
5 **印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認します。**

問題がない：［終了］をクリック
問題がある：［クリーニング］をクリック
画面は機種によって異なることがあります。

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行うときは、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

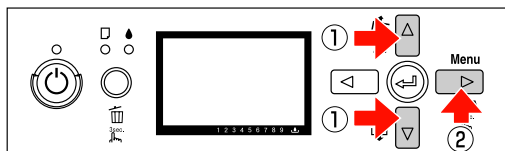
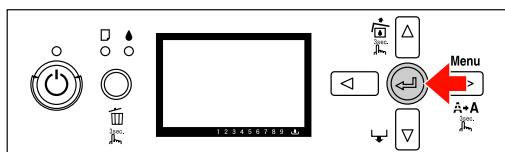
プリンタの操作パネルから行う

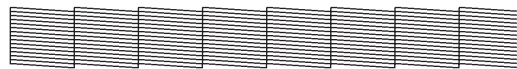
1 **A4 サイズ以上のエプソン製の専用紙をセットします。**

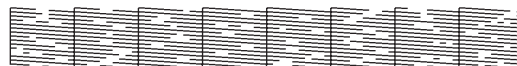
使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。ボード紙トレイにセットされている用紙には印刷できません。

2 **【Menu/ 右】（▷）ボタンを押して、パネル設定モードに入ります。**

3 **［テスト印刷］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。**

4 **［ノズルチェック］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。**

5 **［手動］、［自動］のどちらかを選択し、【右】ボタン（▷）を押します。**

手動：ノズルチェックパターンが印刷されます。

自動：ノズルが目詰まりしていると自動的にクリーニングをします。

6 **【実行】ボタン（⏎）を押します。**

7 **［手動］を選んだときは、印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**

良い例

ノズルチェックパターンが欠けていません。ノズルは目詰まりしていません。

悪い例

ノズルチェックパターンが欠けています。ノズルが目詰まりしています。「ヘッドクリーニング」を行ってください。

☞ 本書 63 ページ「ヘッドクリーニング」

！注意

- 連続して数回クリーニングしても目詰まりが解消されない場合は、パワークリーニングの実行をお勧めします。
  ☞ 本書 64 ページ「パワークリーニング」
- パワークリーニングを行っても目詰まりが解消されないときは、プリンタの電源を切って一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。
  それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へご連絡ください。
  「クリーニング失敗」というメッセージが表示されたら、以下をご覧のうえ対処してください。
  ☞ 本書72ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間が空くようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

ヘッドクリーニングを行うには、2 つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- プリンタの操作パネルから行う

!注意

- ヘッドクリーニングはすべてのインクカートリッジのインクを同時に使います。モノクロ印刷などでブラック系のインクのみを使用しているときも、ヘッドクリーニングではカラーインクも消費します。
- 文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 用紙幅検出が［OFF］の場合、厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクチェックランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください（クリーニングに必要なインクが残っていれば、本体の操作パネルからヘッドクリーニングができることもあります）。
  ☞ 本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」

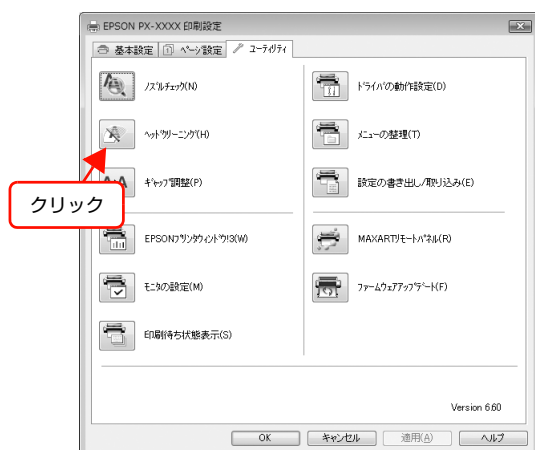
プリンタドライバから行う

ここでは Windows を例に説明します。

Mac OS X では、［EPSON Printer Utility3］を使用します。

☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「ユーティリティの使い方」

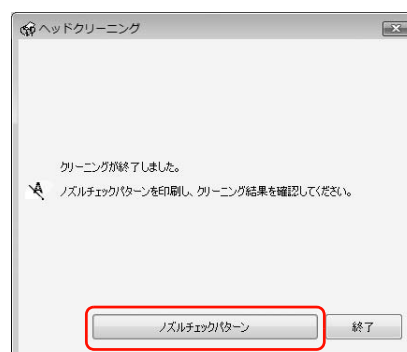
1 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

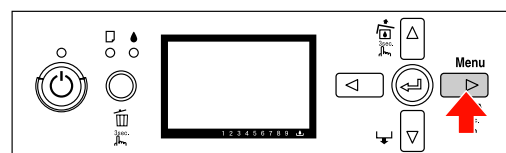
2 **［ヘッドクリーニング］をクリックします。**

3 **［スタート］をクリックします。**

ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 2 分間続きます。

4 の画面が表示されたら、ヘッドクリーニングは終了です。

4 **［ノズルチェックパターン］をクリックし、印刷結果を確認します。**

☞ 本書 61 ページ「ノズルチェック」

プリンタの操作パネルから行う

1 **印刷可能な状態でプリンタの操作パネルの【Menu/右】ボタン（▷）を3秒以上押します。**

3 秒以上押します

電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニング（約 2 分）が始まります。電源ランプが点灯に戻れば、クリーニングは終了です。

2 ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。

ノズルチェックパターンが欠けていないか確認します。

☞ 本書 61 ページ「ノズルチェック」

> **!注意**
> - 連続して数回クリーニングしても目詰まりが解消されない場合は、パワークリーニングの実行をお勧めします。
>   ☞ 次項「パワークリーニング」
> - パワークリーニングを行っても目詰まりが解消されないときは、プリンタの電源を切って一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。
>   それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へご連絡ください。
>   「クリーニング失敗」というメッセージが表示されたら、以下をご覧のうえ対処してください。
>   ☞ 本書72ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

パワークリーニング

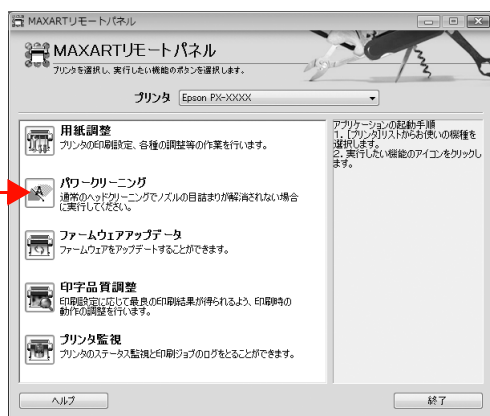
ヘッドクリーニングを数回繰り返しても目詰まりが解消されないときは、次の手順でパワークリーニングを行ってください。

パワークリーニングを行うには、2 つの方法があります。

- MAXART リモートパネルから行う
  ☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「MAXART リモートパネル」
- プリンタの操作パネルから行う

> **!注意**
> パワークリーニングは強力なクリーニングを行うため、通常のクリーニングよりインクが多く消費されます。

MAXART リモートパネルから行う

1 MAXART リモートパネルの画面で、［パワークリーニング］をクリックします。

2 ［プリンタ］でプリンタ名を選択し、［パワーヘッドクリーニング］をクリックします。

以降は、プリンタのディスプレイに表示されるメッセージに従って操作します。

プリンタの操作パネルから行う

1 【Menu/右】ボタン（▷）を押して、パネル設定モードに入ります。

2 【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）を押して［メンテナンス］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。

3 【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）を押して［パワークリーニング］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。

4 ［実行］を選択し、【実行】ボタン（⏎）を押します。

パワークリーニングが始まります。ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示されます。パワークリーニングは約 3 分かかります。

5 ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。

ノズルチェックパターンが欠けていないか確認します。

☞ 本書 61 ページ「ノズルチェック」

自動メンテナンス機能

本製品には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング機能

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源を入れたとき（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます。インクカートリッジすべてのインクを微量吸引して、ノズルの乾燥を防ぎます。

- セルフクリーニング中に【電源】ボタンを押しても、クリーニングが終了するまで電源は切れません。クリーニング中はプリンタの電源プラグを抜かないでください。

キャッピング機能

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、以下のときに実行されます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが右端にあれば、キャッピングされています。

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。プリントヘッドが右端に位置していないとき（キャッピングされていない）は、一度、プリンタの電源を入れ、再度切ってください。プリンタの【電源】ボタンで電源を切ることによって、確実にキャッピングされます。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源を切ってしまったときは、再度電源を入れてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源を切ってください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落とさないでください。キャッピングされないことがあります。

パワークリーニング機能

6ヵ月以上プリンタを使用しなかった場合と 6ヵ月以上どちらかのブラックインクを使用しなかった場合に電源を入れると実行されます。

プリントヘッドのギャップ調整

印刷された画像にズレなどがあるときはギャップ調整を行ってください。ギャップ調整とは、印刷時のプリントヘッドのズレを修正する作業です。

ギャップ調整を行うには、3 つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- MAXART リモートパネルから行う
- プリンタの操作パネルから行う

取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「ギャップ調整」

ギャップ調整は通常はプリンタドライバから行ってください。それでも印刷結果が改善されない場合には、MAXART リモートパネルから行ってください。コンピュータやソフトウェアが手元にない場合は、プリンタの操作パネルからギャップ調整が行えます。

！注意

ギャップ調整は、以下のエプソン製の専用紙（A4 サイズ）を使用してください。

- Epson 写真用紙<光沢>
- Epson スーパーファイン紙
- Epson フォトマット紙

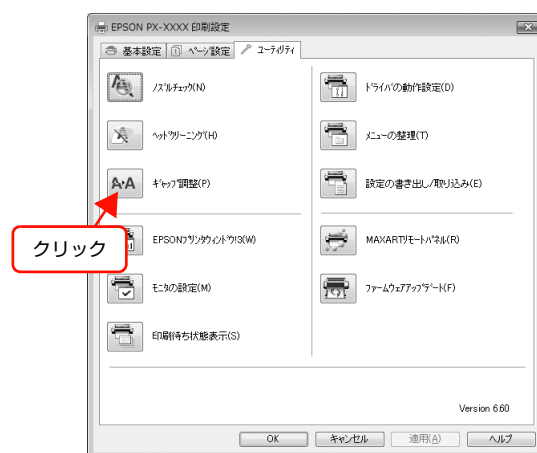
プリンタドライバから行う

1 **以下のエプソン製の専用紙（A4 サイズ）を ASF にセットします。**

- Epson 写真用紙<光沢>
- Epson スーパーファイン紙
- Epson フォトマット紙

2 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を表示します。**

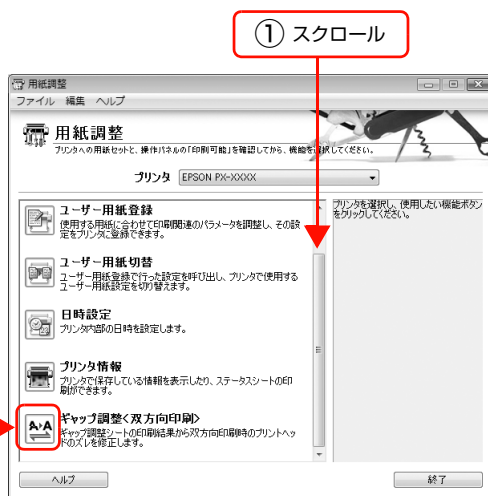
3 **［ギャップ調整］をクリックします。**

画面の表示に従ってギャップ調整を行います。

MAXART リモートパネルから行う

1 **MAXART リモートパネルの画面で、［用紙調整］をクリックします。**

2 **［ギャップ調整］をクリックします。**

目的に応じて選択し、画面の表示に従ってギャップ調整を行います。

☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「MAXART リモートパネル」

参考

双方向印刷は印刷速度を早くしたいときに使用します。
単方向印刷は画質を重視する印刷に向いています。

プリンタの操作パネルから行う

用紙厚に対応した Bi-D 調整を行います。

自動調整では、パターンを印刷した後、センシングを行い、調整値を自動更新します。
手動調整では、印刷された調整パターンを確認し、調整値を入力することで補正値を更新します。

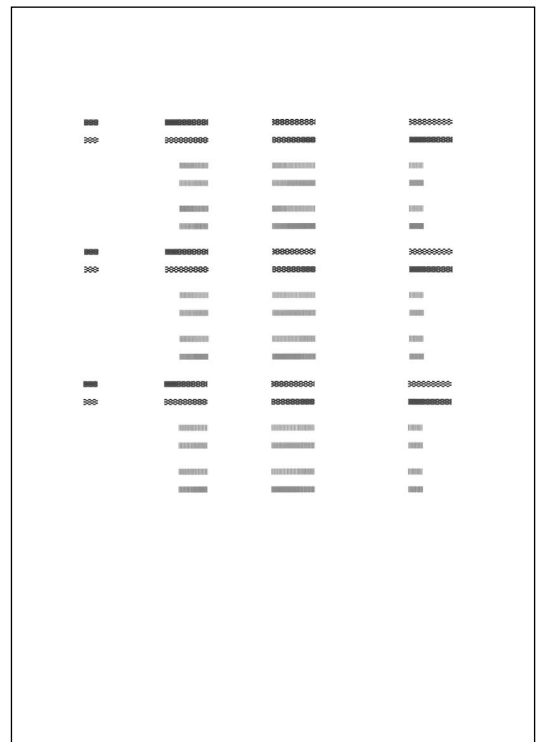
1 **【Menu/ 右】ボタン（▷）を押して設定モードに入り、［ギャップ調整］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。**

2 **【上】ボタン / 【下】ボタン（△/▽）で［自動］か［手動］を選択します。**

＜自動調整の場合＞

1 **［自動］を選択して【右】ボタン（▷）で調整に使う用紙（Epson 写真用紙＜光沢＞、Epson スーパーファイン紙、Epson フォトマット紙のいずれか）を選び、ASF へ同じものをセットします。**

2 **【右】ボタン（▷）を押した後、【実行】ボタン（⏎）を押して調整パターンを印刷します。**

印刷される調整パターンをセンサで読み取り、最適な調整値をプリンタ本体へ自動登録します。

＜手動調整の場合＞

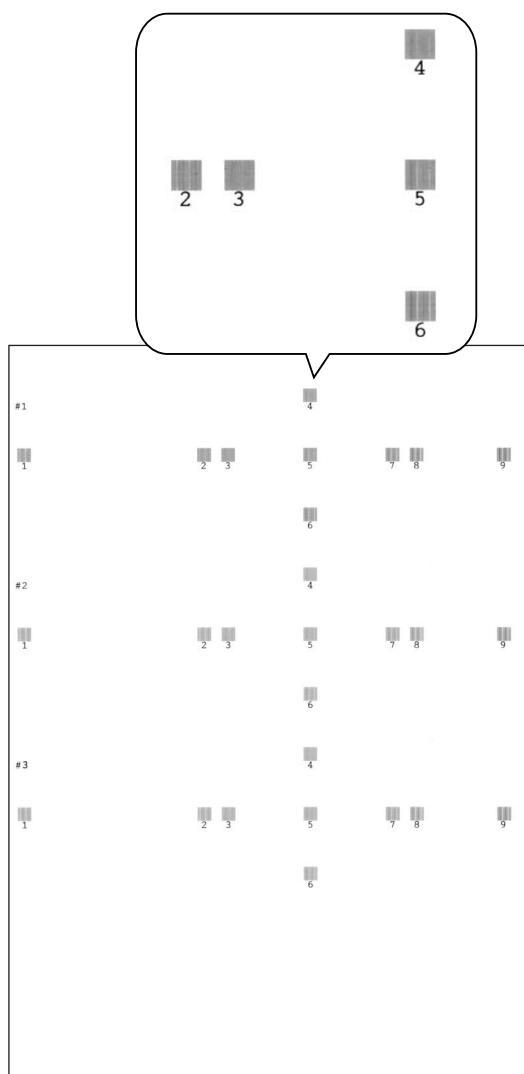
1 ［手動］を選択して【右】ボタン（▷）を押します。

2 調整を実行する用紙の厚さ（0.1mm から 0.5mm）を【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）で選択します。

3 選択した厚さの用紙をプリンタ本体へセットします。

厚さが 0.1mm から 0.3mm の用紙は ASF に、厚さが 0.3mm から 0.5mm の用紙はリア手差し用紙ガイドを使って背面給紙口へセットします。

4 【右】ボタン（▷）を押した後、【実行】ボタン（⏎）を押して調整パターンを印刷をします。

5 調整パターンの結果を目視で確認し、最適な調整値を選びます。

6 ディスプレイに調整値入力モードが表示されます。5 で選んだ最適な調整値を【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）で選択し、【実行】ボタン（⏎）で決定します。

最初に＃ 1 の調整値を決定し、次に＃ 2 の調整値を決定し、最後に＃ 3 の調整値を決定します。

プリンタのお手入れ

プリンタをいつでも良い状態で使用できるように、定期的（1ヵ月に 1 回程度）にプリンタのお手入れをしてください。

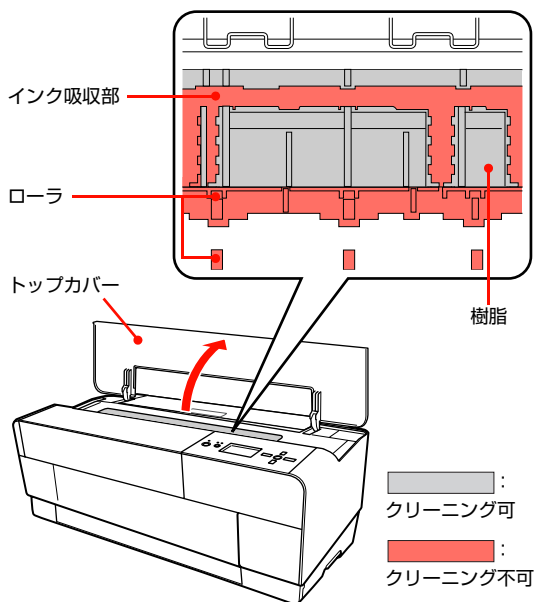
⚠注意　プリンタ外部のクリーニング時には、プリンタ内部に水気が入らないように、注意してふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

プリンタ内部のクリーニング

1 **プリンタの電源を切り、ディスプレイの表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。**

3 **トップカバーを開き、柔らかい布（ウエスなど）を使って、ホコリや汚れをふき取ります。**

⚠注意
プリンタ内部に水滴や異物が入らないようにしてください。プリンタ内部が濡れたり、異物が混入したりすると印刷の品質が低下するだけでなく、電気回路がショートするおそれがあります。

！注意
クリーニング時、次の 2 箇所（上図参照）には絶対に触らないでください。印刷物の汚れなどの原因になります。

- ローラ部分
- インク吸収部部分

4 **印刷時に用紙の裏が汚れるような場合は、樹脂部分（上図参照）を丁寧にふきます。**

プリンタ外部のクリーニング

1 **プリンタから用紙を取り除きます。**

2 **プリンタの電源を切り、ディスプレイの表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。**

3 **柔らかい布を使って、ホコリや汚れを注意深く払います。**
汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

！注意
ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

給紙 / 排紙ローラのクリーニング

印刷後の用紙にローラの汚れが付いたときは、以下の手順に従って、普通紙を給排紙してローラの汚れをふき取ってください。

ここではオートシートフィーダーからの給紙を例にして説明します。

1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **A2 サイズの普通紙をオートシートフィーダーに 1 枚セットします。**
☞ 本書 35 ページ「用紙のセット」

3 **［用紙送り］ボタン（▽）を押します。**
用紙が給紙されます。

4 **もう一度［用紙送り］ボタン（▽）を押します。**
用紙が排紙されます。

5 **手順 2 〜 4 の操作を 2、3 回繰り返します。**

プリンタの保管

プリンタを保管するときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。

⚠注意 本製品を保管するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。

プリンタを長期間使用しないときは

- プリンタを長期間使用しないと、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、月に 1 回はプリンタの電源を入れて、数分（1 ～ 2 分）おいてください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しないときも、インクカートリッジは全色を取り付けた状態にしてください。
- プリンタを長期間使用しないときは、用紙を取り除いてください。用紙をプリンタにセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

6ヵ月以上使わなかったときは

- プリンタを長期間使用しなかった場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できないときは、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
前回の使用から 6ヵ月以上経って電源を入れたときや、どちらかのブラックインクを6ヵ月使用しなかったときは、プリンタが自動的にクリーニングを行います。ディスプレイにはクリーニング中のメッセージおよび進行状況が % で表示されます。パワークリーニングは必要に応じて行ってください。
☞ 本書 61 ページ「ノズルチェック」
☞ 本書 63 ページ「ヘッドクリーニング」
☞ 本書 64 ページ「パワークリーニング」
- プリンタを長期間使用しなかった場合は、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを 3 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されないときは、パワークリーニングを実行してください。
☞ 本書 63 ページ「ヘッドクリーニング」
☞ 本書 64 ページ「パワークリーニング」
- ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、販売店またはエプソンの修理窓口にお問い合わせください。

プリントヘッドの保護について

本製品には、「キャッピング機能」があります。

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。

キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。プリントヘッドが右側にあれば、キャッピングされています。
☞ 本書 65 ページ「キャッピング機能」

プリンタの移動・輸送

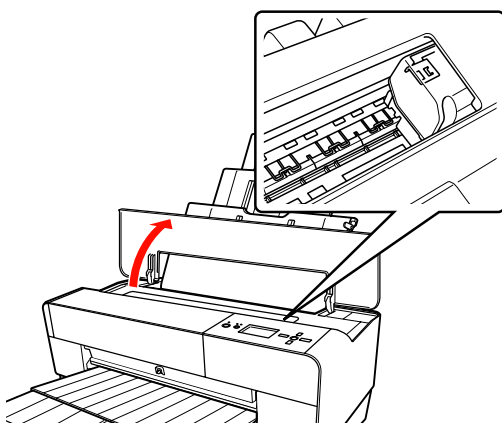
本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、しっかりと梱包してください。

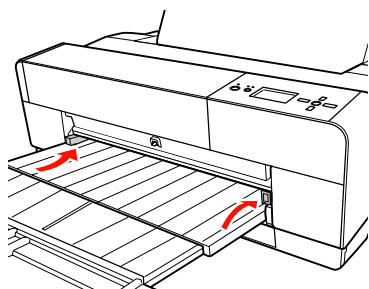
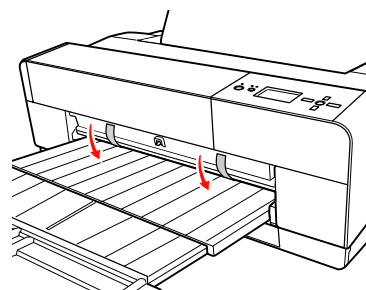
⚠注意
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、１人で運ばないでください。開梱や移動の際は２人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 本書 96 ページ「総合仕様」
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。

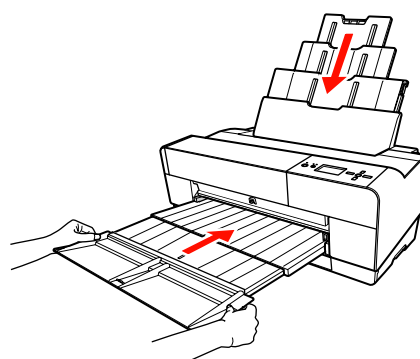
！注意 インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し印刷できなくなるおそれがあります。

可動部の固定と梱包

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **トップカバーを開き、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

参考
プリントヘッドがキャッピング位置にないときは、本製品の電源を一旦入れてから再度切ってください。プリントヘッドは【電源】ボタンで電源を切ることで、確実に右端のキャッピング位置に移動します。

3 **ボード紙トレイを固定します。**
開梱時に保管しておいた保護材をボード紙トレイ下の左右にはめ込み、市販のテープなどで固定します。

保護材がない場合は市販のテープなどでボード紙トレイをしっかり固定します。

テープによっては、長時間貼り付けたままにすると糊がはがれにくくなる場合があります。輸送後は直ちにはがしてください。

4 **排紙トレイ、用紙サポートを収納します。**

5 **電源プラグをコンセントから抜き、電源コード、ケーブルをプリンタから取り外します。**

6 **プリンタを水平にして梱包箱に入れます。**

7 困ったときは

ここでは、使用する際に困ったときの対処方法について説明します。

ディスプレイにメッセージが表示される

メッセージが表示される

表示されるメッセージには、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの 2 種類があります。

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプ表示とディスプレイのメッセージでお知らせします。次のメッセージ内容を確認し、必要な処置をしてください。また、この表ではプリンタの状態を示すメッセージも記載しています。

メッセージ	メッセージの意味と対処方法
インクカートリッジ インク量が限界値以下の為 カートリッジ交換が必要です	新しいインクカートリッジと交換してください。 ☞ 本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジ エプソンの保証を受けられ ない場合があります 使用しますか ＜はい　　　いいえ＞	非純正品を使われた場合はこのようなメッセージが表示されます。純正品の使用をお勧めします。
インクカートリッジ 非純正品です　本来の 性能が発揮できない場合 があります	非純正品を使われた場合はこのようなメッセージが表示されます。純正品の使用をお勧めします。
インクカバー開 インクカバーを閉めてく ださい	インクカバーを閉めてください。
インク残量が少なくなり ました	新しいインクカートリッジを準備してください。
インク残量がとても少な くなりました	新しいインクカートリッジを準備してください。
インク残量不足 新しいインクカートリッジと交換 してください	新しいインクカートリッジと交換してください。 ☞ 本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」
インク充てん中 NN%	インクの初期充てん中です。処理が NN%進んでいます。
印刷中	印刷できます。
印刷できます。	印刷できます。
カートリッジ空き容量不足 メンテナンス カートリッジ を交換してく ださい	新しいメンテナンスカートリッジと交換してください。 ☞ 本書 57 ページ「メンテナンスカートリッジの交換」

メッセージ	メッセージの意味と対処方法
カートリッジエラー インクカートリッジを確 認してください	本製品で使用できるインクカートリッジを正しくセットしてください。
カートリッジエラー インクカートリッジを交 換してください	インクカートリッジを交換してください。 本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」
カートリッジエラー 正しいインクカートリッジを セットしてください	本製品で使用できるインクカートリッジを正しくセットしてください。
カートリッジカバー開 メンテナンス カートリッジ カバーが開い ています	メンテナンスカートリッジカバーを閉じてください。
カートリッジなし インクカートリッジを セットしてください	インクカートリッジをセットしてください。 本書 14 ページ「インクカートリッジのセット」
カートリッジなし メンテナンス カートリッジ をセットして ください	メンテナンスカートリッジを正しく取り付けてください。
カバー開放不可 プリンタ上に物が置かれ ている場合は、取り除き 再度　上ボタンを押して ください	プリンタ上の物を取り除いてください。
キャリッジ未解除 プリントヘッドの保護材 を取り除いてください	プリントヘッドの保護材を取り除いてください。
給紙失敗エラー 用紙を再セット して下ボタン を押してくだ さい	用紙を再セットして【下】ボタン（）を押してください。
給紙失敗エラー 用紙を取り除き 再セットしてください	用紙を取り除き、再度正しくセットしてください。
クリーニング実行不可 下ボタンを押し プリンタから 用紙を取り除 いてください	用紙を取り除き、再度正しくセットしてください。 【下】ボタン（）を押して用紙を取り除いてからクリーニングを実行してください。
クリーニング失敗 ボタンを押してくださ い	【キャンセル / リセット】ボタン（）を押してエラー解除し、クリーニングをやり直してください。
クリーニング中 しばらくお待ちください	クリーニングを実行中です。そのまましばらくお待ちください。

メッセージ	メッセージの意味と対処方法
コマンドエラー ドライバの設定を確認し てください	印刷を中止して、【キャンセル / リセット】ボタン（ 🗑 ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットしてください。
	印刷を中止して、【キャンセル / リセット】ボタン（ 🗑 ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットしてください。接続されているプリンタとプリンタドライバが一致しているか確認してください。
サービスコール NNNN 修理窓口にお問い合わせ ください	電源を一旦切り、再度入れ直してください。これを数回繰り返し、エラーが解除されたら、そのまま使用可能です。再び同じエラーが発生したら、エプソンの修理窓口へ連絡してください。対処方法は以下をご覧ください。 本書 77 ページ「サービスコールが発生したら」
しばらくお待ちください	プリンタが準備中です。そのまましばらくお待ちください。
調整エラー 🗑ボタンを押したあと、 マニュアルを参照し、 調整に対応した用紙を セットしてください	用紙を取り除いて正しい用紙をセットしてください。 本書 65 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
斜め給紙されました 下ボタンを押 した後用紙を セットし直し てください	【下】ボタン（▽）を押して用紙を取り出し、再度用紙を正しくセットしてください。 本書 35 ページ「用紙のセット」
排紙に失敗しました 下ボタンを 押して用紙を 取り除いてく ださい	【下】ボタン（▽）を押して用紙を取り除いてください。
ファームウェア アップデート中	ファームウェアのアップデート中です。処理が終わるまでお待ちください。
フチなし印刷不可 マニュアルを参照し、フチなし 対応サイズの用紙を正しい 位置にセットするか、用紙 幅検出を ON にしてください	【キャンセル / リセット】ボタン（ 🗑 ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットし、セットされている用紙を排紙します。排紙後、正しいサイズの用紙をセットしてください。 本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」
	用紙が波打ったり、たわんでいると用紙サイズを正しく認識できません。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。
	用紙を正しい位置にセットして下さい。
	[用紙幅検出］を［ON］にしてください。 本書 27 ページ「[プリンタ設定］メニュー」
ブラックインク切替え中 NN%	ブラックインク種類を切り替えています。処理が NN%進んでいます。
プリンタエラー プリンタを再起動してく ださい	電源を一旦切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。
ボード紙トレイ開 ボード紙トレ イを閉じてく ださい	ボード紙トレイを閉じてください。

メッセージ	メッセージの意味と対処方法
ボード紙トレイ開 用紙を セットし、 下ボタンを押 してください	用紙をセットして【下】ボタン（▽）を押してください。
ボード紙トレイ閉 ボード紙トレ イを開けてく ださい	ボード紙トレイを開けてください。
ボード紙トレイ閉 ボード紙トレ イを開けて 用紙を取り除 いてください	ボード紙トレイを開けて用紙を取り除いてください。
ボード紙トレイ 下ボタンを 押して用紙を 取り除いて ください	【下】ボタン（▽）を押して、用紙を取り除いてください。
メンテナンスカートリッジ エプソンの保証を受けられ ない場合があります 使用しますか ＜はい　　　　いいえ＞	非純正品を使われた場合はこのようなメッセージが表示されます。純正品の使用をお勧めします。
メンテナンスカートリッジ 非純正品です　本来の 性能が発揮できない場合 があります	非純正品を使われた場合はこのようなメッセージが表示されます。純正品の使用をお勧めします。
メンテナンスカートリッジ空き容量 が少なくなりました	新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。
メンテナンスカートリッジ 交換時期 のためカートリッジ 交換が 必要です	新しいメンテナンスカートリッジと交換してください。 ☞ 本書 57 ページ「メンテナンスカートリッジの交換」
メンテナンスコール XXXX	エプソンの修理窓口へ連絡してください。部品を交換しない限り解除されません。対処方法は以下をご覧ください。 ☞ 本書 77 ページ「サービスコールが発生したら」
用紙が詰まりました 詰まった用紙を 取り除いてください	詰まった用紙を取り除いてください。 ☞ 本書 87 ページ「用紙が詰まった」
用紙サイズが違います 正しいサイズの用紙を セットしてください	印刷データと同じサイズの用紙をセットしてください。
用紙設定エラー 給紙方法をプリンタ ドライバの設定と合せて ください	給紙方法をプリンタドライバの設定と合わせて再度実行してください。

メッセージ	メッセージの意味と対処方法
用紙詰まり確認 用紙が詰まっていません か?マニュアルを参照 して対処してください	マニュアルを参照して用紙を取り除いてから正しくセットし直してください。 ☞ 本書 87 ページ「用紙が詰まった」
用紙なし 用紙をセットしてくださ さい	用紙をセットしてください。
用紙認識エラー 下ボタンを押 した後用紙を セットし直し てください	用紙を取り除いてから、正しくセットし直してください。 ☞ 本書 35 ページ「用紙のセット」
用紙排出エラー 用紙を後方から 取り出してください	用紙を後方から取り出してください。
用紙読み取りエラー 🗑ボタンを押し異なる 用紙を使用してください	用紙読み取りエラーです。【キャンセル / リセット】ボタン（🗑）を押して、異なる種類の用紙をセットしてください。
リセット中 しばらくお待ちください	印刷中断の処理中です。そのまましばらくお待ちください。

メンテナンスコールが発生したら

メンテナンスコールは、プリンタの交換部品の交換時期が近付いたことを示す警告メッセージです。「メンテナンスコール XXXX」が表示された場合は、すぐにお買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。連絡の際には、「XXXX」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。エプソンの修理窓口については、巻末をご覧ください。メンテナンスコールが発生した状態で使い続けると、サービスコールが発生します。

サービスコールが発生したら

サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。

- 輸送用金属板を取り外していない
- 電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタに正しく差し込まれていない
- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した

サービスコールが発生すると、「サービスコール NNNN」と表示され、プリンタは自動的に印刷を停止します。電源を一旦切り、電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタに、正しく差し込まれているか確認します。電源プラグをしっかり差し込んでから再度電源を入れてください。サービスコールのメッセージが表示されなくなった場合は、しばらくそのままお使いいただくことができます。再度同じサービスコールのメッセージが表示されてプリンタが使用できなくなった場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。連絡の際には、必ず「NNNN」（サービスコール番号）を伝えてください。エプソンの修理窓口については、巻末をご覧ください。

原因の確認と対処方法

印刷できない(プリンタが動かない)

トラブル状態	対処方法
電源が入らない	**電源プラグがコンセントまたはプリンタから抜けていませんか?** 差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。 **電源コンセントに問題がありませんか?** ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。
プリンタドライバが正しくインストールされていない(Windows)	**プリンタドライバのアイコンはありますか?** • 本製品のアイコンがある プリンタドライバはインストールされています。次項の[印刷するポート]を確認します。 • 本製品のアイコンがない プリンタドライバが正常にインストールされていません。プリンタドライバをインストールしてください。 ☞本書16ページ「プリンタソフトウェアのインストール」 **印刷するポートの設定が使用するプリンタの接続先と合ってますか?** プリンタの電源を入れて、印刷先のポートを確認します。 プリンタドライバの[ポート]画面を開いて、[印刷するポート]を確認します。 • USB:[USBxxx](xはポート番号を表す数字) • ネットワーク接続:適切なIPアドレスなど 表示がない場合はプリンタドライバが正しくインストールされていません。プリンタドライバを削除して、インストールし直してください。 ☞取扱説明書2詳細編(電子マニュアル)「プリンタドライバの削除」
プリンタドライバが正しくインストールされていない(Mac OS X)	**以下の手順で、プリンタドライバがインストールされているか確認します。** **Mac OS X v10.5の場合** ①ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。 ②[アプリケーション]をクリックして[システム環境設定]をダブルクリックします。 ③[プリンタとファクス]をダブルクリックします。 プリンタ名が表示されないときは、以下の通りプリンタの追加をしてください。 ☞本書16ページ「プリンタソフトウェアのインストール」 ☞本書17ページ「Mac OS Xのプリンタ追加方法」 **Mac OS X v10.3.9～v10.4の場合** ①ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。 ②[アプリケーション]をクリックして[ユーティリティ]フォルダをダブルクリックします。 ③[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])をダブルクリックします。 プリンタ名が表示されないときは、以下の通りプリンタの追加をしてください。 ☞本書16ページ「プリンタソフトウェアのインストール」 ☞本書17ページ「Mac OS Xのプリンタ追加方法」

トラブル状態	対処方法
プリンタとコンピュータの接続に異常がある	**ケーブルが外れていませんか？** プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。 本書 16 ページ「コンピュータの接続」 **コンピュータの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？** インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や本製品の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。 本書 95 ページ「システム条件」 **プリンタ切り替え機などを使っていませんか？** プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機や延長ケーブルを使用していると、その組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。 本書 16 ページ「コンピュータの接続」 **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？** USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本製品はコンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、このようなときはコンピュータの USB ポートに直接接続してください。 **USB ハブが正しく認識されていますか？（Windows）** ［コントロールパネル］の［システム］を実行して、［ハードウェア］タブから［デバイスマネージャ］を開き、［ユニバーサルシリアルバス］の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、プリンタの USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。
ネットワーク環境下で印刷ができない	**操作パネルでネットワーク設定がされていますか？** 操作パネルの［ネットワーク I/F］を［はい］に設定して各項目を設定します。 本書 30 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」 **ネットワーク上の設定は正しいですか？** ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。 **プリンタとコンピュータを一対一で接続して、印刷してみてください。** 一対一の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムの取扱説明書をご覧ください。一対一の接続で印刷ができない場合は、本書の該当項目をご覧ください。
プリンタ側でエラーが発生している	**プリンタ側でエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示とディスプレイのメッセージで確認します。** 本書 21 ページ「ランプ」 本書 72 ページ「ディスプレイにメッセージが表示される」

トラブル状態	対処方法
印刷が中断されている	**EPSON スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？（Windows）** 印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷が停止すると、スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。 ①[スタート] から［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。 ②本製品のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックして「✔」を外します。 **プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティが、状況が「停止中」になっていませんか？（Mac OS X）** プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで［ジョブの停止］をクリックすると、停止が解除されるまで印刷は行われません。 ①Dock で［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］のアイコンをクリックします。 ②状況が［停止中］と表示されているプリンタがあったら、そのプリンタをダブルクリックします。 ③停止中のジョブをクリックし、［ジョブを開始］をクリックします。
あてはまるトラブル状態がない	**プリンタドライバのトラブルか、アプリケーションソフトのトラブルか判断します。** プリンタドライバからの印字テストを行うことにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。 ①プリンタが印刷可能状態であること（電源が入っていること）を確認し、プリンタに A4 サイズ以上の用紙をセットします。 ②[スタート] から［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。 ③本製品のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。 ④プロパティ画面で［全般］タブを選択し、右下の ［テストページの印刷］を クリックします。 しばらくすると、テストページの印刷が始まります。 • テストページが正しく印刷されたときは、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。 • テストページが正しく印刷されないときは、本書のここまでの項目を再度確認してください。 ☞ 本書 78 ページ「印刷できない（プリンタが動かない)」 ※テストページに記載されている「ドライババージョン」とは Windows 内部のドライバのバージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

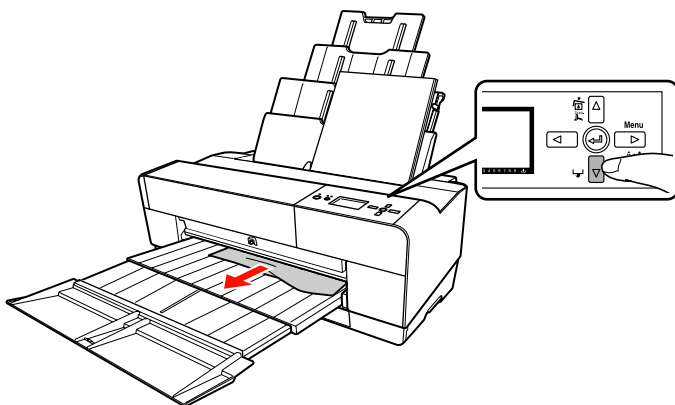
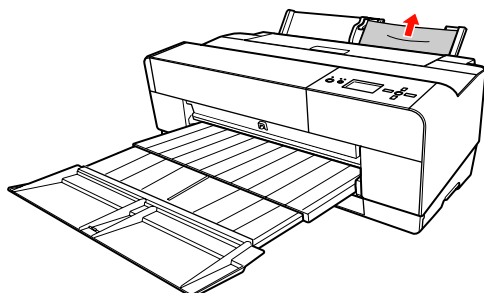
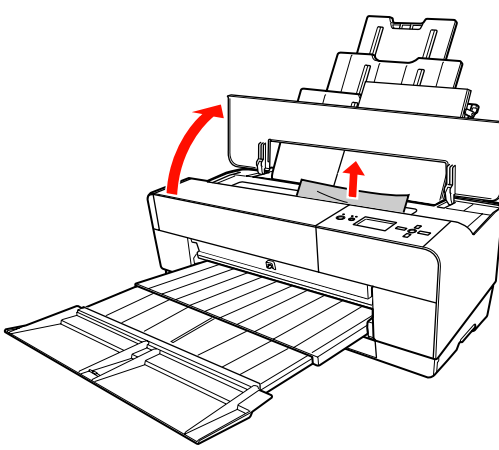
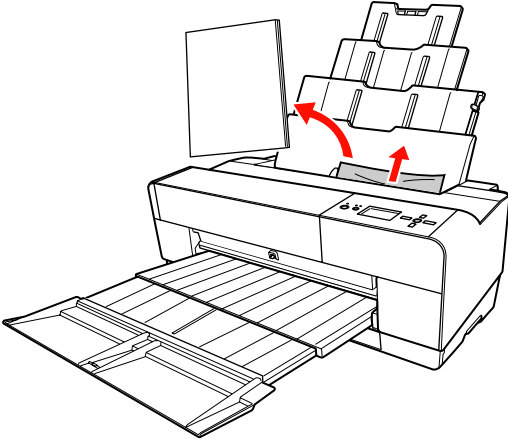
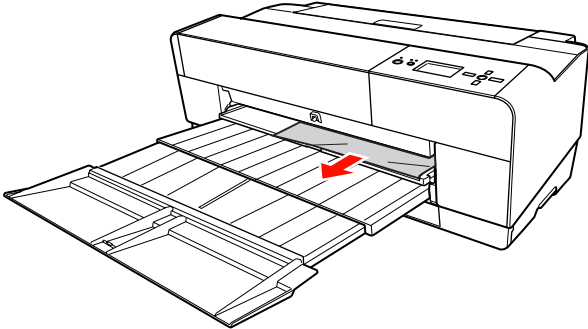
プリンタは動くが印刷されない

トラブル状態	対処方法
インクカートリッジに異常がある	**プリントヘッドは動くが印刷しないときは、プリンタの動作確認をしてください。** ノズルチェックパターンを印刷してください。コンピュータと接続していない状態でも、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。 本書 61 ページ「ノズルチェック」 **ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。** 本書 63 ページ「ヘッドクリーニング」 • クリーニングが必要な場合の印刷サンプルは以下をご覧ください。 本書巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」 • プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクカートリッジの交換が必要になってもインクチェックランプが点灯しなかったり、正常な印刷ができないことがあります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。 本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」 **プリンタを長期間使用していなかったのではありませんか？** プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期間使用しなかったときの処置は、以下を参照してください。 本書 69 ページ「6ヵ月以上使わなかったときは」

印刷品質 / 印刷結果のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷品質が悪い / ムラがある / 薄い / 濃い	**プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。 • クリーニングが必要な場合の印刷サンプルは以下を参照してください。 ☞ 本書巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」 • プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクカートリッジの交換が必要になってもインクチェックランプが点灯しなかったり、正常な印刷ができないことがあります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。 ☞ 本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」 **プリントヘッドにずれ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）** 双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。 ☞ 本書 65 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 **インクカートリッジは推奨品（当社純正品）を使用していますか？** 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなるなどで色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。 **古くなったインクカートリッジを使用していませんか？** 古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限内（プリンタ装着後は 6ヵ月以内）に使用することをお勧めします。 **［用紙種類］の設定は正しいですか？** プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS X）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。 **印刷品質の低いモード（［速い］など）で印刷していませんか？** プリンタドライバで［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で［きれい］または［高精細］を選択してください。 **オートフォトファイン（自動画質補正）の設定で印刷していませんか？** オートフォトファイン !EX は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !EX を有効にしてあると、表示画面の色合いと異なる場合があります。 ☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「オートフォトファイン !EX」 **カラー調整の設定をしていませんか？** 出力装置（この場合はディスプレイとプリンタ）の違いによってカラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使ってカラー調整をしてみてください。 ☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「カラーマネジメント印刷」

トラブル状態	対処方法
印刷品質が悪い / ムラがある / 薄い / 濃い（つづき）	**写真などを普通紙に印刷していませんか？** カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージが大きく異なります。目的に応じて用紙（専用紙と普通紙など）を使い分けてください。 **用紙の裏面に印刷していませんか？** 専用紙には裏表があります。表面（印刷面）を手前にしてセットしてください。 **ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？** ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 • テレビやディスプレイなどでは、赤（R）･ 緑（G）･ 青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3 色すべてが光っている状態が白となります。 • 一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、黄（Y）･ マゼンタ（M）･ シアン（C）の“色の三原色”を組み合わせています。まったく色を付けないのが白で、3 色を均等に混ぜた状態が黒になります。 • スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows）や ColorSync（Mac OS X）です。 **ICM（Windows）または ColorSync（Mac OS X）などのカラーマネージメントシステムをお使いの場合、モニタのプロファイル設定を行いましたか？** 正しくマネージメントを行うためには、入力機器･使用アプリケーションが ICM（Windows）または ColorSync（Mac OS X）に対応している必要があります。また、お使いのモニタのプロファイルを設定する必要があります。 ☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「カラーマネジメント印刷」
他機種と色味が異なる	**プリンタの特性により機種ごとに色味が異なります** プリンタは、使用するインクやプリンタドライバ、プリンタプロファイルなどが機種ごとに異なるため、印刷結果の色味も異なります。 プリンタドライバで色補正方法（sRGB または Adobe RGB）や、ガンマの設定値を同じにすることで、色味を近付けることができます。 また、正確に色味を合わせたいときは、測色器を使用するなどしてカラーマネジメントすることをお勧めします。
印刷位置がずれる / はみ出す	**印刷範囲を指定していますか？** アプリケーションやプリンタの設定で印刷範囲の確認をしてください。 **用紙サイズの設定は正しいですか？** セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］が合っていないと、印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。印刷設定を確認してください。 ［印刷設定］画面の詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプをご覧ください。 **用紙が斜行していませんか？** リア手差し給紙印刷時は、パネル設定の［用紙幅検出］が［OFF］になっていると用紙が斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。パネル設定モードの［用紙幅検出］を［ON］に設定して下さい。 ☞ 本書 27 ページ「［プリンタ設定］メニュー」 **印刷データは用紙幅に納まっていますか？** 印刷イメージが用紙幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、パネル設定の［用紙幅検出］が［OFF］になっていると用紙幅を超えても印刷してしまいます。パネル設定モードの［用紙幅検出］を［ON］に設定してください。 ☞ 本書 27 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

トラブル状態	対処方法
罫線が左右にガタガタになる	**プリントヘッドにずれ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）** 双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷される場合があります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。 ☞ 本書 65 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
印刷面がこすれる / 汚れる	**用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？** 本製品で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン製以外の用紙への印刷やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先または RIP の製造元にお問い合わせください。 **厚い用紙でプリントヘッドが印刷面をこすっていませんか？** 厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。このようなときには、パネル設定モードの［プラテンギャップ］を［広くする］から［最大］の間より選択して設定してください。 ☞ 本書 27 ページ「［プリンタ設定］メニュー」
用紙にしわが発生する	**一般の室温環境下で使用していますか？** エプソン製の専用用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。また、エプソン製以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙の取扱説明書を参照してください。 **エプソン製の専用紙以外の場合、用紙調整を行いましたか？** エプソン製以外の用紙を使うときは、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。 ☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「エプソン製以外の用紙への印刷」
印刷した用紙の裏側が汚れる	**パネル設定の［用紙幅検出］を［ON］に設定してください** 印刷イメージが用紙幅より大きい場合、パネル設定の［用紙幅検出］が［OFF］になっていると、そのまま印刷され、印刷領域からはみ出すため、プリンタ内部が汚れます。プリンタ内部をよごさないためにも、パネル設定の［用紙幅検出］を［ON］に設定してください。 ☞ 本書 27 ページ「［プリンタ設定］メニュー」
インクが出すぎてしまう	**インクカートリッジをしっかり振ってからプリンタにセットしていますか？** 本製品は顔料インクを使用しているため、カートリッジのセットの前にしっかり振って中のインクをよく混ぜて使用してください。 ☞ 本書 52 ページ「インクカートリッジの交換」 **［用紙種類］の設定は正しいですか？** お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。用紙ごとにインクの吐出量をコントロールしているため、例えば写真用紙の設定で普通紙に印刷すると、用紙に対してインクが過剰な状態で印刷されることがあります。 **［インク濃度］の設定は適切ですか？** プリンタドライバの「用紙調整」でインクの濃度を下げてください。用紙によって、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。［用紙調整］画面の詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプをご覧ください。

トラブル状態	対処方法
フチなし印刷ができない、余白が発生する。	**アプリケーションソフト側で適切な印刷データを作成していますか？** プリンタドライバ側だけでなく、アプリケーションソフト側でも用紙設定をしてから印刷してください。 ☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「フチなし印刷」 **用紙の設定は合っていますか？** お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。 ☞ 本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」 **はみ出し量を変更していますか？** フチなし印刷のはみ出し量を調整してください。はみ出し量を「少ない」に設定していると余白が残る場合があります。 ☞ 取扱説明書 2 詳細編（電子マニュアル）「フチなし印刷」 **用紙の保管は適切でしたか？** 用紙の保管状況によっては、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。用紙の保管については用紙の取扱説明書をご覧ください。 **フチなし印刷対応用紙を使用していますか？** フチなし印刷対応用紙以外の用紙を使用すると、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。フチなし推奨用紙を使用することをお勧めします。 ☞ 本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」

給紙ミス / 排紙のトラブル

トラブル状態	対処方法
給紙・排紙がうまくできない	**用紙のセット位置は正しいですか？** 以下をご覧のうえ正しい位置に用紙をセットしてください。 ☞本書 35 ページ「用紙のセット」 A3 以上の普通紙が斜め給紙されたときのみペーパーサポートエッジガイドを使用してください。 用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認します。 **用紙を縦長にセットしていますか？** 用紙は、必ず縦長にセットして印刷してください。横長にセットすると、用紙が認識されず、エラーが発生します。 ☞本書 97 ページ「用紙仕様」 **用紙にシワや折り目がありませんか？** 古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。 **用紙が湿気を含んでいませんか？** 湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、エプソン製の専用紙は、お使いになる分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。 **用紙が波打ったり、たわんでいませんか？** 用紙は、温度や湿度などの環境の変化により波打ったり、たわんでしまい、プリンタ側で用紙サイズを正しく認識できなくなってしまう場合があります。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。 **用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？** 本製品で使用できる仕様の用紙か確認してください。エプソン製以外の用紙に印刷したり、ラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先または RIP の購入先にお問い合わせください。 **一般の室温環境下で使用していますか？** エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。 **プリンタに用紙が詰まっていませんか？** プリンタのトップカバーを開き、プリンタに異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。紙詰まりが発生しているときは、以下を参照しながら用紙を取り除いてください。 ☞本書 87 ページ「用紙が詰まった」 **排紙した用紙がカールしていませんか？** お使いになる用紙の種類、印刷環境、印刷内容によっては、用紙が反って排紙されることがあります。そのような用紙は印刷後、排紙される都度、用紙を取り除いてお使いください。

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>用紙が詰まった</td><td>紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、以下の手順に従って取り除いてください。
①排紙口から詰まっている用紙をゆっくり引き抜いて、【用紙送り】ボタン（▽）を押します。
リア手差し用紙ガイドからの給紙が失敗した場合は【用紙送り】ボタン（▽）を押します。後方から取り除けない場合は、②に進んでください。
②プリンタの電源を切ります。詰まった用紙が排出されます。排出されない場合は、③に進んでください。
③トップカバーを開けて、プリンタ上部から詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。
！注意
絶対に強く引き抜かないでください。強く引き抜くとプリンタが故障するおそれがあります。
上から取り除けない場合は、④に進んでください。</td></tr>
</table>

トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった（続き）	④給紙口から詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。 **！注意** 絶対に強く引き抜かないでください。強く引き抜くとプリンタが故障するおそれがあります。 **！注意** 詰まった用紙がどうしても取り除けない場合はプリンタを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへ修理をご依頼ください。 **厚紙が詰まった場合** 紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに取り除いてください。給紙口から、詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。 **！注意** 絶対に強く引き抜かないでください。強く引き抜くとプリンタが故障するおそれがあります。

その他

トラブル状態	対処方法
モノクロモードで印刷、もしくは黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが速い	**ヘッドクリーニングにより、カラーインクが消費されています。** プリントヘッドのクリーニングをすると、すべてのノズルのクリーニングが行われ、すべての色のインクが消費されます。（モノクロモードを選択していても、クリーニング時にはすべての色のインクが消費されます。）
プリンタドライバが最新ではない	**最新のプリンタドライバを入手してください。** 通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要になることがあります。このようなときは、以下をご覧のうえ、プリンタドライバを入手してください。 本書 90 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」
Windows でプリンタドライバのコピーができてしまった	**同じプリンタドライバを何度もインストールしていませんか？** Windows において、本製品のプリンタドライバがインストールされている状態で新たに本製品のプリンタドライバをインストールすると、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダの中に［EPSON PX-5002（コピー 2）］、［EPSON PX-5002（コピー 3）］というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。本製品のアイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても問題はありません。プリンタフォルダ内に本製品のアイコンが 1 つでも残っていれば、ほかのアイコンを削除しても、本製品のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

お問い合わせいただく前に

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp/faq/）では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバをバージョンアップすることによって、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いいただくことをお勧めします。

最新のプリンタドライバは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。

アドレス：http://www.epson.jp

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では最新のファームウェアのバージョンアップ情報をご提供しています。

また、MAXART リモートパネルを使うと、簡単にファームウェアのアップデートができます。詳細は MAXART リモートパネルのヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、プリンタの動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

☞ 本書 99 ページ「各種サービス・サポートの一覧」

プリンタの動作確認

プリンタの故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断するため、ノズルチェックパターンを印刷することによってプリンタの動作確認をします。

1. **電源を切り、インターフェイスケーブルを外します。**
2. **電源を入れます。**
3. **プリンタに A4 サイズ以上のエプソン製の専用紙をセットします。**
4. **【Menu/ 右】ボタン（▷）を押します。**
5. **【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）で、［テスト印刷］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。**
6. **【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）で、［ノズルチェック］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。**
7. **【上】ボタン /【下】ボタン（△/▽）で、［手動］を選択し、【右】ボタン（▷）を押します。**
8. **【実行】ボタン（⏎）を押します。**
   ノズルチェックパターンの印刷を開始します。

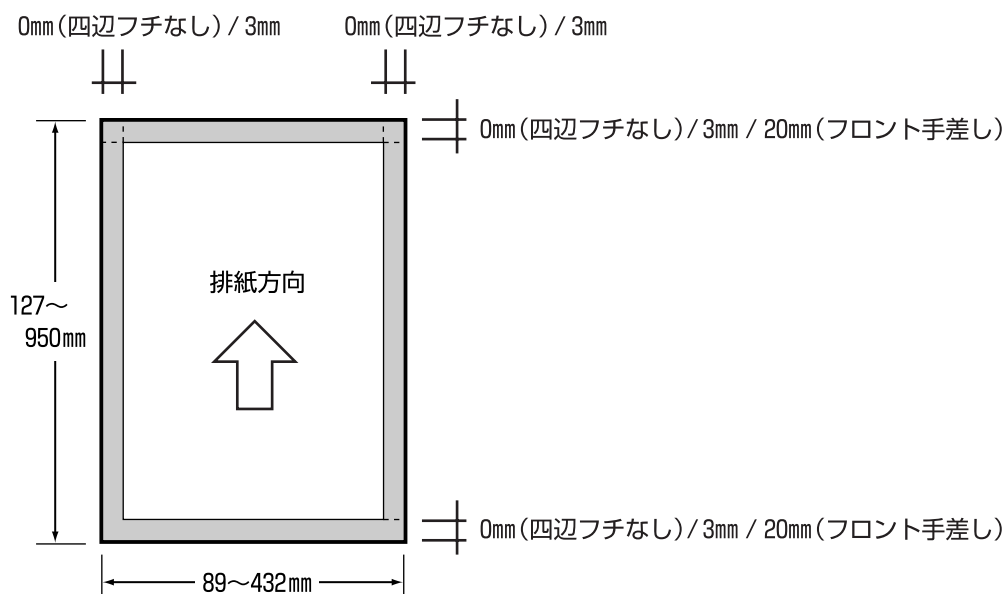
正常に印刷できないときは、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

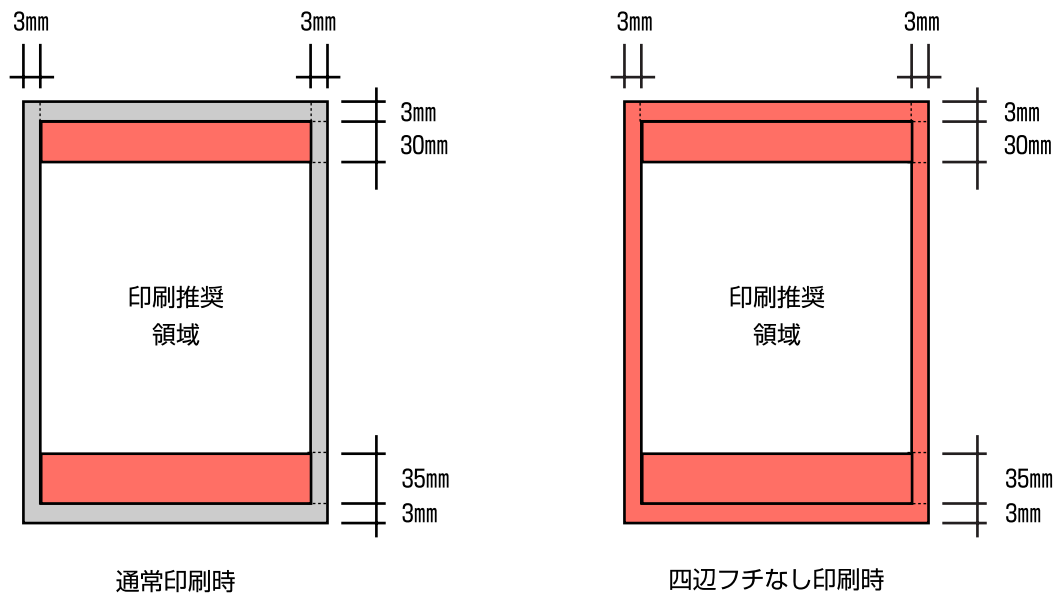
☞ 本書 99 ページ「サービス・サポートのご案内」

8 付録

ここでは、本製品で使用できる用紙やコンピュータ、本製品のサポートなどに関する内容を説明します。

印刷可能領域

本製品で印刷できる領域は次の通りです。グレー部分には印刷できません。

■定形紙の印刷領域と余白について

定形紙では以下のグレー部分には印刷できませんので、印刷データ上は文字や画像などを配置せずに余白にしてください。また、カラーの部分は本製品の機構上、印刷品質が低下する場合があります。

！注意	用紙のセット状態や伸縮具合によって、余白量が多少ずれる可能性があります。

用紙の仕様と設定

使用できる用紙の種類（名称）、サイズ、給紙方法（経路）、セット可能枚数、四辺フチなし印刷の可否および印刷に使用されるブラックインクの種類の一覧表です。用紙名称の下にはICCプロファイルを表記しています。（2009年5月現在）

用紙名称 ---------- ICC プロファイル	サイズ	給紙経路	セット可能枚数	四辺フチなし印刷	ブラックインク種類
写真用紙＜光沢＞ ---------- PX-5002 Photo Paper(G)	L（89 × 127mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	2L（127 × 178mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	ＫＧサイズ （102 × 152mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	ハイビジョンサイズ （102 × 181mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	六切（203 × 254mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	四切（254 × 305mm）	ASF	10	○	フォトブラック
	半切（356 × 432mm）	ASF	10	×	フォトブラック
	A4	ASF	20	○	フォトブラック
	A3	ASF	10	○	フォトブラック
	A3ノビ	ASF	10	○	フォトブラック
	A2	ASF	1	○	フォトブラック
写真用紙＜絹目調＞ ---------- PX-5002 Photo Paper(SG)	L（89 × 127mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	2L（127 × 178mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	ハガキ（100 × 148mm）	ASF	20	○	フォトブラック
	A4	ASF	20	○	フォトブラック
	A3	ASF	10	○	フォトブラック
	A3ノビ	ASF	10	○	フォトブラック
	A2	ASF	1	○	フォトブラック
写真用紙クリスピア＜高光沢＞ ---------- PX-5002 Photo Crispia	L（89 × 127mm）	ASF	20*	○	フォトブラック
	2L（127 × 178mm）	ASF	1	○	フォトブラック
	六切（203 × 254mm）	ASF	1	○	フォトブラック
	四切（254 × 305mm）	ASF	1	○	フォトブラック
	KGサイズ （102 × 152mm）	ASF	1	○	フォトブラック
	A4	ASF	1	○	フォトブラック
	A3	ASF	1	○	フォトブラック
	A3ノビ	ASF	1	○	フォトブラック

*　うまく給紙できないときは、1枚ずつ給紙してください。

用紙名称 ---------- ICC プロファイル	サイズ	給紙経路	セット可能枚数	四辺フチなし印刷	ブラックインク種類
スーパーファイン紙 ---------- マットブラック（線画）のとき PX-5002 Super Fine Paper_MK(LD) マットブラックのとき PX-5002 Super Fine Paper_MK フォトブラックのとき PX-5002 Super Fine Paper_PK	A4	ASF	60	×	フォトブラック マットブラック
	A3	ASF	50	×	フォトブラック マットブラック
	A3 ノビ	ASF	50	×	フォトブラック マットブラック
	A2	ASF	10	×	フォトブラック マットブラック
郵便ハガキ(インクジェット紙) ---------- PX-5002 IJPC	ハガキ（100 × 148mm)	ASF	50	○	マットブラック
郵便ハガキ ---------- PX-5002 Standard	ハガキ（100 × 148mm)	ASF	50	○	マットブラック
両面上質普通紙＜再生紙＞ ---------- PX-5002 Standard	A4	ASF	80	×	フォトブラック マットブラック
	A3	ASF	40	×	フォトブラック マットブラック
フォトマット紙 / 顔料専用 ---------- PX-5002 Photo Matte	A4	ASF	20	○	マットブラック
	A3	ASF	10	○	マットブラック
	A3 ノビ	ASF	10	○	マットブラック
	A2	ASF	1	○	マットブラック
画材用紙 / 顔料専用 ---------- PX-5002 Watercolor	A3 ノビ	リア手差し	1	○	マットブラック
UltraSmooth Fine Art Paper ---------- PX-5002 USmoothFineArt	A3 ノビ	リア手差し	1	○	マットブラック
	A2	リア手差し	1	○	マットブラック
Velvet Fine Art Paper ---------- PX-5002 Velvet Fine Art	A3 ノビ	リア手差し	1	○	マットブラック
	A2	リア手差し	1	○	マットブラック

!注意 画材用紙 / 顔料専用、UltraSmooth Fine Art Paper、Velvet Fine Art Paper は ASF で使用すると故障につながるおそれがあります。正しい給紙経路（リア手差し）でお使いください。

システム条件

本製品のソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は以下の通りです。できるだけ早く最新情報をお知らせするために、インターネットによる情報提供も行っております。

アドレス：http://www.epson.jp/

Windows

オペレーティングシステム		Windows 2000 Windows XP	Windows XP x64 Edition Windows Vista
CPU		1 GHz 以上	OS の推奨動作環境以上での使用を推奨
主記憶メモリ		512MB 以上	
ハードディスク空き容量		250MB	
ディスプレイ		XGA（1024 × 768）以上の解像度	
接続方法	USB	• USB2.0/1.1 に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピュータ • Epson USB ケーブル（型番：USBCB2）を使用します。	
	ネットワーク	市販の LAN インターフェイスケーブルを使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T または 100Base-TX のどちらでも使えます。 対応プロトコル：TCP/IP、Bonjour、MS Network、AppleTalk	

！注意

- Windows 2000 でのインストールは、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。
- Windows XP でのインストールは、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows Vista でのインストールは、「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンする必要があります。なお、管理者のパスワードまたは確認を求められる場合があります。パスワードが求められた場合は、パスワードを入力して操作を続行してください。

Mac OS

オペレーティングシステム		Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4	Mac OS X v10.5
CPU		PowerPC G4 1.67GHz 以上 または Intel 社製プロセッサ	PowerPC G5 2.00GHz 以上 または Intel 社製プロセッサ
主記憶メモリ		3GB 以上	3GB 以上
ハードディスク空き容量		250MB 以上	260MB 以上
ディスプレイ		SVGA（800 × 600）以上の解像度	1280 × 800 以上の解像度
接続方法	USB	• USB2.0/1.1 に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピュータ • Epson USB ケーブル（型番：USBCB2）を使用します。	
	ネットワーク	市販の LAN インターフェイスケーブルを使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T または 100Base-TX のどちらでも使えます。 対応プロトコル：TCP/IP、Bonjour、AppleTalk	

本製品の仕様

本製品の技術的な仕様について記載しています。

基本仕様

印刷方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	ブラック系：180 ノズル× 3 色 （フォトブラック / マットブラック、グレー、ライトグレー） カラー：180 ノズル× 5 色 （シアン、ライトシアン、ビビッドマゼンタ、ビビッドライトマゼンタ、イエロー）
印刷方向	双方向最短距離印刷
解像度（最大）	2880 × 1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター （コマンドは非公開）
紙送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリ	メイン用　64MB ネットワーク用　16MB
インターフェイス	USB 2.0 High Speed Ethernet 10/100

インク仕様

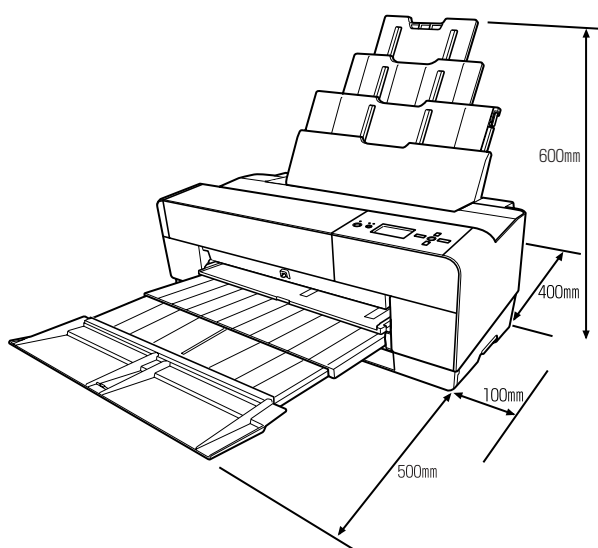
形態	専用インクカートリッジ
顔料インク色	ブラック系： フォトブラック / マットブラック、グレー、ライトグレー カラー： シアン、ライトシアン、ビビッドマゼンタ、ビビッドライトマゼンタ、イエロー
有効期間	個装箱、カートリッジに記載された期限（常温）
印刷品質保証期限	6ヵ月（プリンタ取り付け後）
保存温度	梱包保存時：－ 20 ～ 40 ℃ （40 ℃の場合 1ヵ月以内） 本体装着時：－ 20 ～ 40 ℃ （40 ℃の場合 1ヵ月以内） 梱包輸送時：－ 20 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 72 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内）
容量	80ml
カートリッジ外形寸法	30.1（幅）× 93.4（長さ）× 70.2（高さ）mm

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.6A
消費電力	動作時：約 25W スリープモード時：約 5W 電源ボタンオフ時：約 0.2W * 消費電力を0Wにするためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

総合仕様

温度	動作時：10 ～ 35 ℃ 保存時（開梱前）：－ 20 ～ 60 ℃ （60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内） 保存時（開梱後）：－ 20 ～ 40 ℃ （40 ℃の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露） 保存時（開梱前）：5 ～ 85% （非結露） 保存時（開梱後）：5 ～ 85% （非結露）
	この範囲以内で使用してください 湿度(%) 80 55 20 10 27 35 温度(℃)
質量	約 19.8kg（インクカートリッジ、メンテナンスカートリッジを含む）
外形寸法	684（幅）× 376（奥行き）× 257（高さ）mm

設置スペース

プリンタの外形寸法：
684（幅）× 376（奥行き）× 257（高さ）mm

用紙仕様

用紙種類	普通紙、再生紙、その他
用紙サイズ	Letter（8-1/2 × 11 インチ） Legal（8-1/2 × 14 インチ）* 11 × 17 インチ /279 × 432mm A6（105 × 148mm）* A5（148 × 210mm）* A4（210 × 297mm） A3（297 × 420mm） A3 ノビ（329 × 483mm） A2（420 × 594mm） B5（182 × 257mm）* B4（257 × 364mm）* B3（364 × 514mm）* ハガキ（100 × 148mm） 往復ハガキ（200 × 148mm）* L 判（89 × 127mm） KG サイズ（102 × 152mm） 2L 判（127 × 178mm） ハイビジョンサイズ（102 × 181mm） 六切（203 × 254mm） 四切（254 × 305mm） 11 × 14 インチ /279 × 356mm 半切（356 × 432mm）* 16 × 20 インチ /406 × 508mm ユーザー定義サイズ（89 × 127mm）～（431.8 × 950mm）* * は四辺フチなし不可
用紙厚	ASF　0.08 ～ 0.30mm リア手差し用紙ガイド　0.29 ～ 0.50mm ボード紙トレイ（フロント手差し）　1.20 ～ 1.50mm

エプソン製の専用紙については以下をご覧ください。

☞ 本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」

！注 意

- 普通紙および再生紙については、上記仕様の用紙を本製品に装着して通紙できますが印刷品質保証するものではありません。
- そのほかの用紙種類については、上記仕様の用紙が本製品に装着できますが通紙保証および印刷品質保証するものではありません。
- しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。

オプションと消耗品の紹介

本製品をより幅広くお使いいただくために、以下のオプション（別売品）と消耗品を用意しています（2006 年 7 月現在）。

エプソン製の専用紙

エプソン製の専用紙に関する情報は、本書 93 ページ「用紙の仕様と設定」をご覧ください。

また、用紙に関する最新の情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

http://www.epson.jp

インクカートリッジ

本製品に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなるおそれがあります。

交換方法については、以下を参照してください。

本書 54 ページ「インクカートリッジの交換手順」

本製品では、以下のインクカートリッジを使用します。

インクの色	型番
マットブラック	ICMB48
フォトブラック	ICBK48
グレー	ICGY48
ライトグレー	ICLGY48
シアン	ICC48
ビビッドマゼンタ	ICVM48
ライトシアン	ICLC48
ビビッドライトマゼンタ	ICVLM48
イエロー	ICY48

メンテナンスカートリッジ

交換方法は、以下をご覧ください。

本書 57 ページ「メンテナンスカートリッジの交換」

名称	型番
メンテナンスカートリッジ	ICMT1

インターフェイスケーブル

USB ケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータとプリンタを接続する場合は、オプションの USB ケーブルを使用してください。

名称	型番
Epson USB ケーブル	USBCB2

本書 16 ページ「コンピュータの接続」

USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用する際は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがあります。このようなときはコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

ネットワークケーブル

本機を Ethernet でネットワーク環境に接続するときは、市販の LAN ケーブルを使用してください。

- シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）
- 10Base-T または 100Base-TX

本書 16 ページ「コンピュータの接続」

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	本書巻末の一覧表をご覧ください。
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます（東京）。	
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書の PDF データをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。	エプソンのホームページ
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください。（2007 年 9 月現在）	本書巻末の一覧表をご覧ください。
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	詳細は次項を参照してください。

* 「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

本書 71 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※ 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書巻末の一覧表をご覧ください）

  受付日時：月曜日〜金曜日 （土日祝日・弊社指定の休日を除く）

  9：00 〜 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代･部品代＊は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙）などは、保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
  年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります。）
- 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。
  エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

索引

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

め

ゆ

よ

ら

り

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

プリンタの廃棄について

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、作業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令従って廃棄してください。

印刷サンプル

トラブルチェック用サンプル

印刷結果がおかしい場合、以下の印刷サンプルを参照して現在の状態にあてはまるものがあれば、参照先の説明をご覧ください。

正常な印刷結果

プリントヘッドのクリーニングが必要と思われます。

本書 63 ページ「ヘッドクリーニング」

プリントヘッドのギャップ調整が必要と思われます。

本書 65 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

モノクロ写真印刷サンプル

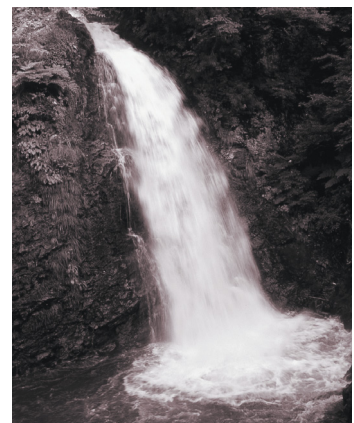
PX-5002 は、フォトブラック、マットブラック、グレー、ライトグレーのモノクロ系インクと、カラーインクを使い、豊かなモノクロ表現が可能な「モノクロ写真印刷」機能がプリンタドライバに搭載されています。

プリンタドライバによるモノクロ写真印刷の例

色調整：純黒調（ニュートラル）

色調整：純黒調＋「白地にかぶり効果を与える」を有効

色調整：温黒調（ウォーム）

色調整：冷黒調（クール）

色調整：セピア

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660 ・東京修理センター：042-584-8070 ・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 050-3155-7150 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ でご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求め下さい。（2009年7月現在）

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン 株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（インク）2009. 07

EPSON PX-5002 取扱説明書1 セットアップと使い方編